

4 保幼小が連携するスタートカリキュラムKOTO方式

～ よりよいスタートカリキュラムの編成・実施を目指して～

【参考・出典】「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」スタートカリキュラム導入・実践の手引き
(文部科学省・国立教育政策研究所・教育課程研究センター編著 平成 29 年 12 月)

(1) 江東区におけるスタートカリキュラムの編成

① 学習指導要領における位置付け

平成 29 年 3 月告示の学習指導要領においては、第 1 章総則で、低学年における教育全体において、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続を図る役割が生活科に期待されるとともに、「特に、小学校入学当初において、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと（スタートカリキュラムの編成・実施）」が規定されました。これを受け、低学年の各教科等（国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、特別活動）の学習指導要領にも同旨が明記されています。

各小学校では、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実が求められています。

② 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえたスタートカリキュラム

入学当初の児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるためには、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を更に伸ばしていくことができるようにすることが重要です。

小学校では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに幼児期の実態を理解し、幼児期から児童期への発達の流れを理解することが求められています。 ※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」については、p. 8 を参照のこと。

③ 江東区の実践

江東区では、よりよいスタートカリキュラムを編成するために、「スタートカリキュラムKOTO方式」として、その過程において、保育所・幼稚園の保育者の方にもその作業に携わっていただきたいと考えています。

④ 目的（メリット）

【小学校教員の方】（義務教育学校を含む）

よりよいスタートカリキュラムの編成・実施のため、保育者の意見や考えを聞くことで、幼児期の教育や、幼児の学び、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等についての理解を深める。

【保育者の方】

スタートカリキュラムの編成・実施（評価・反省を含む）に携わることで、スタートカリキュラムや、小学校教育についての理解を深める。

⑤ 方法 「スタートカリキュラム KOTO 方式」

【編成時（1月～3月）】

- 自園の幼児が進学する予定がある小学校や、「江東区保幼小連携教育プログラム」の同一グループの近隣小学校等のスタートカリキュラムの編成作業に、保育者が携わる。

・ 入学前の申し送りの会や、連絡会等の場を活用して、小学校が案として

編成したスタートカリキュラムについて、意見交換を行う。

- ・ 実際に顔を合わせて話し合う機会をもつことが難しい場合は、電子データや紙ベースでのやり取り等を通して、意見交換を行う。

< 保育者に確認してほしい主な視点 >

- ① こどもを迎え入れる側の小学校教員が、校内において、入学してくるこどもたちの現在地（育ち・発達 = 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」）について、共通理解を図れる内容となっているか。
- ② 幼児期の生活を踏まえた、こどもにとって負担の少ない、弾力的な時間割、単元配列等となっているか。（合科的・関連的な指導の工夫、10分から15分程度の短い時間の設定、ゆったりとした時間の流れで進める2時間続きの設定等）

【評価・反省時（4月～6月）】

- 近隣校園において、「第1回江東区連携教育の日」や「1年生の情報交流会」等の機会を活用して、小学校入学後の1年生児童の情報を共有し、併せて、可能な範囲で、スタートカリキュラムの反省・評価を行う。
 - ・ 1年生児童の実態から、今年度中の今後の学校生活に生かせる工夫や次年度のスタートカリキュラム編成に生かせること等について意見交換する。
 - ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や「就学前教育スタンダード」を手掛かりに、幼児期から児童期へのこどもの学び、育ち、発達等について共有する。

（2）スタートカリキュラムの編成・実施の考え方

① スタートカリキュラムをデザインする基本的な考え方

スタートカリキュラムの編成・実施に当たっては、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うことが求められています。これは、個別の教科や1時間ごとの学習活動だけではなく、小学校入学当初の学校生活全体を対象とし、その教育課程を各学校や児童の実態に応じてデザインすることを意味しています。

スタートカリキュラムをデザインする際の基本的な考え方としては、次の4つが考えられます。考え方について学校全体で共通理解を図った上で、校内組織を立ち上げ、スタートカリキュラムをデザインすることが求められます。

<p>■一人一人の児童の成長の姿からデザインしよう</p>	<p>入学時の児童の発達や学びには個人差があり、それぞれの経験や幼児期の教育を考慮したきめ細かい指導が求められる。そのため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえるなどして、幼児の発達や学びの様子を理解した上で、カリキュラムをデザインすることが重要である。</p>
<p>■児童の発達の特性を踏まえて、時間割や学習活動を工夫しよう</p>	<p>入学当初の児童の発達の特性やこの時期の学びの特徴を踏まえて、10分から15分程度の短い時間を活用して時間割を構成したり、具体的な活動の伴う学習活動を位置付けたりするような工夫が必要である。また、児童の意欲の高まりを大切に、自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように活動時間を設定することなども考えられる。</p>
<p>■生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実を図ろう</p>	<p>自分との関わりを通して総合的に学ぶという、この時期の児童の発達の特性を踏まえ、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を図ることが重要である。このような指導により、児童の意識の流れに配慮したつながりのある学習活動を進めていくことが可能となる。</p>
<p>■安心して自ら学びを広げていけるような学習環境を整えよう</p>	<p>児童が安心感を持ち、自分の力で学校生活を送ることができるように学習環境を整えることが重要である。児童の実態を踏まえること、人間関係が豊かに広がること、学習のきっかけが生まれることなどの視点で、児童を取り巻く学習環境を見直す必要がある。</p>

② 実際に各学校で行うスタートカリキュラムのデザイン

幼児期における遊びを通しての総合的な指導を通じて育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるようにするためには、小学校入学当初の学校における教育活動全体を対象として、カリキュラムをデザインしていくことが欠かせません。基本的な考え方を踏まえ、スタートカリキュラムをデザインする際には、次のような手順で進めることが考えられます。

スタートカリキュラムをデザインする手順

遊びを通しての総合的な学び(幼児期)

より自覚的な学び(児童期)

(1) 幼児の発達や学びを理解する

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえる
- ・幼児の発達や学びの姿を把握する

(2) 期待する児童の姿を共有する

- ・スタートカリキュラムで期待する児童の姿を明らかにする
- ・実施期間を検討する

(3) 各学校のスタートカリキュラムをデザインする

① 単元の構成と配列
期待する児童の姿に
適合した単元を構成し
配列する

スタートカリキュラムとして 大切なこと

幼児期の教育とのつながりや児童の発達の特性を踏まえ、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるよう、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫を行う

全ての単元を配列し、
俯瞰することができる単
元配列表を作成する

② 週の計画と時間配分
単元計画に基づいた
学習活動を週の計画
として時間配分する

スタートカリキュラムとして 大切なこと

児童の発達の特性や学びの特徴を踏まえ、短い時間で時間割を構成したり、ゆったりとした活動時間を位置付けたりするなど、弾力的な時間割の設定の工夫を行う

実践に向けて具体化
するために週案を作成
する

③ 単元の構成と配列

スタートカリキュラムをデザインする際には、幼児期の発達や遊びを通じた総合的な学びが小学校の学習や生活において発揮できるように、また、児童の思いや願いをきっかけとして始まる学びが自然に教科等の学習につながっていくように、単元の構成と配列を行うことが大切です。

単元の構成においては、体験活動を取り入れる、友達との関わりを重視する、児童の意識の流れを大切にするなど考えられます。

単元の配列においては、各教科等間のつながりを意識することが大切です。そのため、「小学校学習指導要領 第2章 第5節 生活」においては、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫が示されています。

合科的・関連的な指導の工夫により単元を構成し配列する際には、生活科における学習活動が他教科等での学習材となったり、生活科で身に付けた資質・能力を他教科等で発揮したり、他教科等で身に付けた資質・能力が生活科において発揮されたりして確かに育成されるようにするなど、いくつかのタイプが考えられます。次の表では、合科的な指導と関連的な指導の捉え方や考えられる複数のタイプを示しています。

合科的・関連的な指導

	捉え方	タイプ(例)
合科的な指導	各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの	【合科】 生活科を中心とした単元の学習活動において、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開することで、指導の効果を高める
関連的な指導	教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの	【関連 A】 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす
		【関連 B】 他教科等の学習成果を生活科の学習に生かす

④ 単元配列表の作成

合科的・関連的な指導の工夫を行う際には、学習指導要領で各教科等の目標や内容を確認し、より効果的に展開できるように実施時期や指導方法を調整するなどの工夫が求められます。そのために、生活科と各教科等との単元の関連を明示した単元配列表を作成することが考えられます。「小学校学習指導要領解説 生活編」においても、「生活科と他教科等において学んだことがどのように関連付いていくのかを意識し、児童の思いや願いを生かした学習活動を展開するために、全ての単元を配列し、それを俯瞰することができる単元配列表の作成が効果的である」と示されています。

ここで大切なことは、単に学習材や活動を関連付けるだけでなく、各教科等でのどのような資質・能力を育成したいのかを意識し、児童の意識の流れを想定した上で、相互の関連について検討し位置付けていくことです。また、合科的指導においては、関連した教科の目標が生活科の目標とともに実現されていくように意識する必要があります。

第1学年 単元配列表 (例)

各教科等	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
国語	あいうえおであそぼう				
	いちねんせい	よろしくね	はるのあさ	みつけたよ	ことばのひみつ
				あめのひ	ともだちとはなそう
算数	なかまづくりとかず	くらべよう	10までのかず	なんぼんめ	いくつといくつ
生活	がっこうだいすき みんななかよし				おおきなあれ
音楽	みんなであうたおう		おんがくにあわせて		
図画工作	すきなものいろいろ	じぶんマーク	こんなことあったよ	ねんどであそぼう	すなやつちとあそぼう
体育	からだほぐし	ゆうぐあそび		おにあそび	
道徳	げんきにあいさつ		みんなであそぶもの	ともだちとなかよく	いきものとなかよし
特別活動	入学式 よろしくね	1年生を迎える会 たのしいきゆうしよく		おしごとたのしいな	

⑤ 週の計画と時間配分

幼児期においては、園の生活における一日の流れの中で、夢中になって遊んだり、共通の目的の実現に向けて協力してやろうとしたり、活動の区切りでは気持ちを切り替えて、しなければならないことを自覚したりするようになることなどを大切にしています。小学校においても、幼児期のこうした発達や学びを土台とし、児童が興味・関心をもったことを一人一人のペースで追究していけるような、ゆったりとした時間の流れの中で、少しずつ小学校での学習や生活に慣れていくようにするための工夫が求められます。

そこで考えられるのが、弾力的な時間割の設定です。特に入学当初は、登校してからの時間や朝の会から1時間目などについて、幼児期の生活リズムや園での過ごし方を参考に、幼児期に近い生活をつくるようにすることが大切です。

また、この時期の児童の発達の特性に配慮し、学びの特徴を踏まえて、10分から15分程度の短い時間で時間割を構成したり、児童が自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように学習活動を2時間続きで設定したりすることも考えられます。

このような弾力的な時間割の設定については、スタートカリキュラムを実施する期間の週案に位置付けることで、計画的・組織的な取組として学校全体で共通理解を図りながら進めていくことができます。次に示したのは、スタートカリキュラム第2週の「週案(例)」です。

	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日
日	4/〇(月)	4/〇(火)	4/〇(水)	4/〇(木)	4/〇(金)
朝	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・本がたくさん	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・本がたくさん
安心をつくる時間					
ポイント1	「がっこうだいすき みんななかよし」 ・自己紹介しよう (園「よろしくね」2/3)	「あいうえおであそ ぼう」 ・ひらがな (園2/3)	「あいうえおであそ ぼう」 ・ひらがな (園2/3)	「がっこうだいすきな かよしいっぱい」 ・道具で遊ぼう (体「ゆうであそび」1)	「あいうえおであそ ぼう」 ・ひらがな (園2/3)
ポイント2	「くらべよう」 ・数を比べよう (算1/2)	「はるのあさ」 ・リズムに合わせて 読む(園1/3)	「はるのあさ」 ・リズムに合わせて 読む(園1/3)		「はるのあさ」 ・聞き合おう (園1/3)
生活科を中心とした学習活動	びっくりを見付けよう(生1と1/3)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春と遊ぼう (生2)	「10までのかず」 ・数えてみよう (算1)	「見付けたものを数 えてみよう」 (算「10までのかず」1)	「10までのかず」 ・絵を見て数えよう ・数字を書こう (算1)
ポイント3	「あいうえおであそ ぼう」・ひらがな (園2/3)		「はるですよ」 ・みんな生きている (園1)	「はるのあさ」 ・工夫して読もう (園1/3)	「からだばぐし」 ・二人、三人、みんな で遊ぼう (体1)
教科等を中心とした学習活動	「なかよしいだきせん 」 ・みんなでおいしく 給食を食べよう			「あいうえおであそ ぼう」 ・ひらがな (園2/3)	
昼					
ポイント4	「くらべよう」 ・数を比べよう (算2/3)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春のTシャツを作 ろう (園工「はるとなかよ し」1)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春のTシャツを飾 ろう (園工「はるとなかよ し」1)	「みんなであうた おう」 ・わらべうたで遊ぼ う (音1)	

※の時間については、授業時数以外の教育活動として位置付けたり、各教科等で実施したりすることが考えられる。(各教科等で実施する場合には、学習活動がその教科等の目標や内容を実現するものである必要がある。)

週案を作成する際には、次のような学習の類型を参考にすることが考えられます。

スタートカリキュラムを構成する活動の類型	
	一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした活動（安心をつくる時間）
	合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動
	教科等を中心とした学習活動

次に示したのは、p.33の「週案（例）」を作成する際に意識したポイントです。各学校においては、こうしたポイントを確認し、期待する児童の姿に向けて週案を作成することが求められます。

「週案（例）」を作成する際に意識したポイント

	スタートカリキュラムとして大切にすること
ポイント 1	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動、交流する活動などを位置付け、楽しい気持ちで1日がスタートするように1週間の時間割を計画する ○児童が安心して学校生活を楽しむことができるように、一定の期間は同じ学習内容を繰り返す連続性と、少しずつ内容が高まっていく発展性を意識する
ポイント 2	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の思いや願いの実現に向けた主体的な学習がつながっていくように、1週間の時間割を計画する ○生活科を中心に、つながりのある他教科等のねらいを考えながら合科的・関連的な指導を行う ○思いや願いの実現に向けた主体的な学習活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように、2時間続きなどの学習活動を位置付ける
ポイント 3	<ul style="list-style-type: none"> ○入学当初の児童の学習に対する期待感を生かし自覚的な学びにつなぐために、教科等の学びの時間を1週間の時間割に位置付ける ○児童の学習意欲が続いていくように、他教科等の指導の際に生活科との関連を意識する ○入学当初の児童の発達の特性に配慮し、10分から15分程度の短い時間を活用して時間割を構成したり、具体的な活動の伴う学習活動を位置付けたりする
ポイント 4	<ul style="list-style-type: none"> ○入学当初の児童の発達の特性に配慮し、午後の時間は具体的な活動の伴う学習活動を位置付ける ○1日の終わりには、明日への期待感を高める活動を設定する

⑥ 1日の学校生活の実際

次は、p.33の「週案(例)」から第6日目を取り出し、児童の生活リズムや1日の過ごし方を意識して示したものの一部です。このように、1日の学校生活を、学び手である児童を中心にデザインすることが重要です。

第6日 4月〇日(月)			
時刻	類型	学習活動	○予想される児童の姿 ★環境の構成 ●教師の働きかけ
8:10		○登校する	<p>○登校してからの手順が分かり、自分で朝の支度ができる。</p> <p>○新しい友達と歌を歌ったり、体を動かして一緒に遊んだりすることを通して、新しい出会いを楽しむ。</p> <p>●笑顔で迎え、登校したうれしさが感じられるようにする。まだ不安な心もちで登校している児童がいることに配慮し、先週までの活動を繰り返すことで安心感を高める。</p> <p>★朝の支度などが自分でできるように、目で見分ける表示をする。</p> <p>★園で読んでいた絵本や、みんなで遊べる積み木、ブロック、粘土などを準備しておく。</p> <p>●「先生や友達と過ごすのは楽しい」と感じられるように、教師も一緒に歌ったり、笑顔を交わしたりして楽しい雰囲気をつくる。</p>
8:30		○ランドセルの片付けをする	
1時間目		○宿題や連絡帳を出す ○好きな遊びをする ○朝の会 ○「なかよくなろう」 ・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	
2時間目		○「がっこうだいすき みんななかよし」 ・友達同士で自己紹介をする ・先週ゲストとして出会った先生たちを探し出して自己紹介をし、質問をする ・自己紹介の時の様子や見つけた「はてな」や「びっくり」を交流し合う	<p>○先生たちに名前カードを渡して自己紹介をし、聞きたいことを尋ねたり、話をしたりする。</p> <p>●担任以外にもたくさんの先生方が見守ってくれていることが実感できるように、校長先生・教頭先生・保健室の先生・用務員さんなどとの関わりの場面をつくる。</p> <p>★児童が校内外を自由に探検できるように、全教職員に協力を依頼するとともに、児童とも学校探検のルールなどについて事前に確認しておく。</p>
3時間目			
4時間目			
		○「あいうえおであそぼう」 ・学校探検でお話した校長先生の名前の頭文字をきっかけにして言葉見付けをする ・見つけた言葉を紹介し合う ・「い」を丁寧に書く	<p>○「い」のつく言葉見付けをし、それを交流したり丁寧に書いたり、これからの学習で使ってみることを考えたりする。</p> <p>●児童の「書いてみたい」「伝えたい」という思いが繋がっていくように、ひらがなの学習も学校探検などと関連付けるようにする。</p> <p>★ひらがな学習を楽しく、そして見通しをもって学べるように、言葉見付けや見つけた言葉の紹介、リズム遊びなど、発達の特性を踏まえて一連の学習活動を設定する。</p>

単元の構成や展開、学習指導案の作成等の実践事例については、『『発達や学びをつなぐスタートカリキュラム』スタートカリキュラム導入・実践の手引き(文部科学省・国立教育政策研究所・教育課程研究センター編著 平成29年12月)]を参照ください。

スタートカリキュラム 構成の一例

令和〇年度 江東区立〇〇小学校 スタートカリキュラム

1 ねらい

- 入学当初の児童が、幼児期の教育における「遊びや生活を通じた学び（育ち）」を基礎として、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことができるようにする。

2 育てたいこどもの姿（スタートカリキュラムで育てたいこどもの姿）

- ……子（こども）
- ……子（こども）
- ……子（こども）

〈例1〉…「教育目標」を視点にして
〈例2〉…「3つの資質・能力」の視点から
〈例3〉…「知・徳・体」の視点から
など

※ 学校の全教員で共有するために、端的な言葉で、項目を絞って表す。

3 基本的な考え方

- 入学当初の児童の発達や学びは個人差が大きいことを踏まえ、一人一人の児童の実態に応じたきめ細かい指導を行う。
- 入学当初の児童の発達の特性や、「遊びを通して学ぶ」という幼児期の学びの特徴を踏まえ、時間割や学習活動を工夫する。（10分から15分程度の短い時間を活用する、具体的な活動が伴う学習活動を位置付ける、ゆったりとした時間の設定をするなど）
- 生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実を図る。児童の意識、思考の流れに配慮したつながりのある学習活動となるようにする。
- 児童が安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができるように学習環境を整える。学習環境を整えるに当たっては、児童の実態を踏まえること、人間関係が豊かに広がること、学習のきっかけとなることなどの視点をもって行う。

4 本校におけるスタートカリキュラムを構成する活動の種類

- 安心をつくる時間（△△タイム）
- 生活科を中心として、合科的・関連的に学習する時間（◇◇タイム）
- 教科等の学習の時間（☆☆タイム）

教員間で活動のねらいや指導の方向性などを共有しやすいよう、活動を3～4つ程度に区別し、それぞれ、「〇〇タイム」などの名前を付け、週案を作成する際に活用する。

5 指導に当たって理解しておくこと（幼児期の終わりまでに育ってほしい姿）

入学当初の児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるよう、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を更に伸ばしていく。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼児期の実態を理解し、幼児期から児童期への発達の流れを理解する。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

(1) 健康な 心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。	(6) 思考力の 芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
(2) 自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。	(7) 自然との 関わり・ 生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたり、大切にすることを覚えるようになる。
(3) 協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。	(8) 数量や図形、 標識や文字な どへの関心・ 感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
(4) 道徳性・ 規範意識 の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。 また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。	(9) 言葉による 伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
(5) 社会生活 との 関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどし、社会とのつながりなどを意識するようになる。	(10) 豊かな感性 と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

- ◆ ねらい及び内容に基づいて、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼稚園教育において育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿で、特に5歳児後半に見られるようになる姿。
- ◆ 到達すべき目標ではないことや、個別に取り出されて指導されるものではないことに十分留意する必要がある。
- ◆ 全ての幼児に同じように見られるものではないことに留意する必要がある。

6 第1学年入学当初の単元配列表

p.32を参照

7 週ごとの指導計画（週案）

弾力的な時間割の設定を行う。（10分から15分程度の短い時間で時間割を構成したり、ゆったりとした時間を保障し2時間続きで設定したりなどの工夫をする。

活動名とともに、自校で設定した類型「〇〇タイム」の名称も記す。

5 年間計画に基づき行う合同行事・研修会や日常的に行う連携・交流

(1) 連携・交流の年間計画の例

保育所・幼稚園・小学校が、連携・交流できる活動等の例を挙げました。「事例」の欄に記号（a～h）があるものについては、次ページ以降に具体的な事例を掲載していますので参考にしてください。

時期	内容	事例
4月頃	<input type="checkbox"/> 保育者・小学校教員間の顔合わせ	
	<input type="checkbox"/> 学校・園だよりの交換（通年）	
	● 交流の初めの一步「どんなところかな？小学校」校庭の散歩	a
5月頃	<input type="checkbox"/> ● 小学校運動会見学	
	<input type="checkbox"/> 保育者・小学校教員による入学後の児童の情報交換会「元気で すか？1年生」	b
	<input type="checkbox"/> 「江東区連携教育の日」（第1回）に向けての保育者・教員の 打ち合わせ	
6月頃	● 小学校での幼児と高学年児童の交流会「一緒に遊ぼう」	c
	<input type="checkbox"/> 保育者、教員の研修会「江東区連携教育の日」（第1回）	d
6月～12月頃	● 小学校行事への参加「〇〇小学校まつり 楽しいな」	e
9月頃	● 保育所・幼稚園の運動会へ向けて 校庭の借用	
10月頃	● 5年生による保育所や幼稚園の運動会の手伝い	
11月頃	● 学芸会や音楽会の鑑賞	
	●☆ 就学時健康診断	
12月	● 5年生による絵本の読み聞かせ	
	<input type="checkbox"/> 「江東区連携教育の日」（第2回）に向けての保育者・教員の 打ち合わせ	
1月～2月頃	● 保育所・幼稚園行事への5年生の参加「お正月遊びを楽しもう」	f
	● 小学校訪問「わくわく小学校」（校内めぐり、授業体験、給食 体験）	g
	<input type="checkbox"/> 保育者、教員の研修会「江東区連携教育の日」（第2回）	
2月～3月頃	☆ 保護者会等での小学校長や修了児保護者の話「小学校の生活」	
	<input type="checkbox"/> 今年度の連携・交流の反省・評価・改善	
	<input type="checkbox"/> スタートカリキュラムの意見交換	
	<input type="checkbox"/> 保育者・小学校教員による入学前の情報交換会「バトンをつな ぎます」	h

●：主に幼児・児童が中心

□：主に保育者・教員が中心

☆：保護者が中心

(2) 連携・交流の活動等の具体例

a 交流の初めの一步

活動名	「どなたところかな？小学校」 校庭の散歩	
時期	4月頃	
ねらい	<p>【保幼】幼児：小学校の広い校庭で、安全に気を付けて遊び、小学校の施設に親しみをもつ。</p> <p>【小】児童：幼児が校庭を使用する様子を見て、幼児に関心をもつ。</p>	
事前の準備	<p>① 施設管理者同士が事前に連絡をとり、施設の使用の可否について確認する。</p> <p>② 交流担当者同士が連絡を取り合い、日程や時間等を決定するとともに、本活動のねらい、注意事項等を確認する。 ○ 実地踏査日、実施日</p> <p>③ 実地踏査 ○ 危険箇所についての確認 ○ 動線についての確認</p> <p>④ 当日の予定を、事前に施設管理者、連携教育担当者に書面で提出する。 ○ 園名、園長名、住所、電話番号、実施日時、参加予定人数、引率者、実施内容を記入する。</p>	
当日の流れ	<p>⑤ 小学校に行く。 ○ 受付で用件を言う。 ○ 幼児が小学校職員に挨拶する。 ○ 校庭で遊ぶ。 ・ 安全な遊び方を知る。 ・ 校庭を散歩し、花壇や飼育小屋を見る。 ・ 校庭で遊ぶ（走る）。 ○ トイレを借りる。 ○ 幼児が小学校職員にお礼を言い、帰る。</p>	
配慮点	<p>○ 事前に小学校までの経路の安全確認をしておく。</p> <p>○ 簡単な応急処置ができるような救急用具を持参する。</p>	
評価の観点	<p>○ 幼児が、校庭で安全に楽しく過ごし、小学校に親しみの気持ちをもてましたか。</p> <p>○ 連携教育担当者同士の連絡は、スムーズでしたか。</p>	

b 保育者・小学校教員による入学後の児童の情報交換会

活動名	「元気ですか？1年生」
時期	4月～5月頃
ねらい	入学した児童が安定した学校生活を送るために情報を交換する。 【保幼】1年生の生活や児童の実態を見て、保育園・幼稚園の保育を振り返り今後の保育に生かす。 【小】得た情報を、1年生の実態の見直しや、教育に生かす。
事前の準備	① 施設管理者同士で情報交換会を設定することを確認する。 ② 小学校と保育所・幼稚園の連携担当者同士が日程調整をする。 ○ 日時の決定、学校公開及び参観日の確認、情報交換の内容の確認等を行う。
当日の流れ	③ <授業参観> ○ 学校公開等で参観をして、小学校での生活や授業の様子を見る。 ④ <情報交換会> ○ 保育者、小学校教員同士の簡単な自己紹介をする。 ○ 1年生の学校生活の様子や、保育所や幼稚園当時の児童の様子を情報交換する。 ○ 配慮を要する児童についての状況について情報交換する。 ○ 1年生の学校生活の様子を共有し、スタートカリキュラムの反省・評価を行う。 ○ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や「就学前教育スタンダード」を手掛かりに、こどもの学び、育ち、発達等について共有する。
配慮点	○ 江東区連携教育の日を活用する。 ○ 児童の学校生活の様子について保幼小で意見交換をする。 ○ 児童理解を深め、担任の指導改善に生かせるように率直な意見交換をする。 ○ 個人情報の扱いに十分注意する。
評価の観点	○ 保・幼・小の保育者・教員がそれぞれの立場で、1年生の様子を話し合い、共通理解し合うことができましたか。

c 小学校での幼児と高学年児童の交流会

活動名	「一緒に遊ぼう」
時期	6月頃
ねらい	<p>【保幼】 幼児：小学生に対して親しみや憧れの気持ちをもつ。 幼児：小学校の施設に慣れ、親しみの気持ちをもつ。 【小】 児童：高学年として自覚をもち、幼児に親しみの気持ちをもち優しく接するとともに、年間の交流の見通しをもつ。</p>
<p>事前の準備</p> <p>当日の流れ</p>	<p>① 連携担当者同士で日程の調整をする。（年間の交流日程は、次年度の計画を立てる年度末に行うとよい。）</p> <p>② 保育者が直接小学校に出向き、詳細の打ち合わせをする。打ち合わせを小学校ですること、保育者が小学校の施設を知り、保育者・小学校教員が互いに知り合う機会となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介 ○ 詳細な打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時の決定、当日の内容等 ・ ねらいの確認 <p>③ <幼児と高学年児童の交流会></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の体育館に行く。 ○ 全体集会を行う。（司会は児童） <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児・児童による園名・校名・学年等の紹介 ・ グループ作り ○ グループでの活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの自己紹介 ・ 手遊び ・ ゲームや運動遊び ○ 全体集会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児・児童が各々歌う。 ・ 知っている歌を全員で歌う。 ・ お礼の言葉を言う。 ・ さよならの挨拶をする。 <p>④ 事後の反省会を保育者・小学校教員間で行う。その際、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や「就学前教育スタンダード」を手掛かりに、こどもの学び、育ち、発達等について共有する。</p>
配慮点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前の打ち合わせを行い、それぞれのねらいが達成できるように無理のない計画を立てる。 ○ 幼児・児童が親しみをもって交流できるように工夫する。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児と児童がお互いに親しみの気持ちをもって関わる事ができましたか。 ○ 児童が優しい気持ちで幼児と関わる事ができましたか。 ○ 児童が高学年としての自覚をもつ事ができましたか。 ○ 保育者・教員は、お互いに、幼児・児童の実態を共有できましたか。



d 保育者・教員の研修会

活動名	「江東区連携教育の日」(第1回)
時期	6月 (※第2回は1月)
ねらい	保育者、小・中学校教員による協議や研修を通して、互いの教育内容やこどもの発達についての理解を深める。
事前の準備	<p>① 各校園の連携教育担当者が、事前の打ち合わせを行い、日程の調整や、内容の確認をする。</p> <p>② 協議会・研修会に参加する。</p> <p>【取組の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)」についての理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 区立幼稚園教員が「就学前教育スタンダード」について説明し、幼児期のこどもの学びや育ちについて共有する。 ・ 小中の学びの接続について、「こうとう学びスタンダード指導資料」を活用して、共通理解を図る。 ○ 保幼小中の共通のテーマで意見交換を行う。(規範意識、生活習慣、食育、健康な体づくり等) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ 本日の趣旨・流れを確認 ・ 当番校園からの提案 ・ グループ協議 ・ 園長や校長からの講評
当日の流れ	<p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「就学前教育スタンダード」に関連して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての理解を深める。 ○ よりよいスタートカリキュラムについて意見交換を行う。 ○ 江東区連携教育の日以外にも、近隣の保・幼・小・中の研究発表会・道徳授業地区公開講座などに参加する。 ○ 研究発表校(園)は、必ず近隣校園に案内を出し周知する。 ○ 地域の盆踊りやお祭りの時のパトロール、近隣の清掃や花壇の水やり等を通して連携する。 ○ 職員間の無理のない効果的な連携・交流を考え、可能な範囲で、実施する。
配慮点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設管理者や連携教育担当者の打ち合わせのもと、職員間の交流を行う。 ○ 教育委員会や近隣の保・幼・小・中に問い合わせ、参加可能な研修会、研究会を調べる。 ○ 研修会・研究会に参加しやすいよう、主催者側から案内を出す。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協議会・研修会に参加し、「こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)」についての理解が深まりましたか。 ○ こどもの発達を見通す新たな視点を得られましたか。



e 小学校行事への参加

活動名	「〇〇小学校まつり 楽しいな」
時期	6月～12月頃
ねらい	<p>【保幼】 幼児：小学生との関わりを楽しみ、親しみや憧れの気持ちをもつ。 幼児：小学校の施設に慣れる。</p> <p>【小】 児童：幼児が安全に楽しく「〇〇小学校まつり」などに参加できるようにし工夫して活動する。</p>
<p>事前の準備</p> <p>当日の流れ</p>	<p>① 小学校から保育所・幼稚園へ学校行事の案内をする。</p> <p>② 保育者が小学校へ行き詳細な打ち合わせをする。 ○ 日時、ねらいの確認、当日の内容の打ち合わせをする。 ○ 校舎内の施設確認をする。（トイレ、階段、保健室等）</p> <p>③ 児童は、事前に幼児にどのように接するか話し合う。保育所・幼稚園宛てに招待状を届ける。</p> <p>④ 【幼児側からの視点】 <小学校の〇〇まつりに参加する> ○ 幼児が小学校へ行く。 ○ 先生からトイレ、水飲み、集場所等の確認や注意事項を聞く。 ○ 高学年の児童と挨拶を交わす。 ○ 児童と数人のグループになり、遊びたいコーナーを決める。 ○ 児童と遊びのコーナーで遊ぶ。 ○ 楽しいことや困ったことを児童に話す。 ○ 児童に案内してもらいながらトイレや水のみ場を知る。 ○ 児童にお礼を言い、帰る。</p> <p>【児童側からの視点】 <幼児を〇〇まつりに招待する> ○ 幼児の実態に合わせて優しく関わる。 ○ トイレや水飲みに連れて行く。 ○ 幼児が困っていたら様子をよく見て話を聞く。 ○ 事後、幼児への関わり、幼児の反応等について振り返る。</p> <p>⑤ 事後の反省会を保育者・教員間で行う。その際、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や「就学前教育スタンダード」を手掛かりに、こどもの学び、育ち、発達等について共有する。</p>
配慮点	<p>連携教育担当者同士で打ち合わせをする。 ○ 校内のトイレ、階段他の安全確認をする。 ○ 慣れない場所なので、事前に安全や遊び方の約束を幼児に指導する。 ○ 小学校は幼児の理解力や体力等に配慮し計画する。</p>
評価の観点	<p>○ 幼児は小学生に親しみをもち、小学校行事に喜んで参加していましたか。 ○ 児童は幼児が安全に楽しく参加できるように、活動の工夫をしていましたか。 ○ 保育者は、幼児が小学生と関わりやすいような援助ができましたか。 ○ 小学校教員は、児童が幼児の立場を考えながら接することができよう援助ができましたか。</p>



f 保育所・幼稚園行事への5年生の参加

活動名	「お正月遊びを楽しもう」
時期	1月
ねらい	<p>【保幼】 幼児：4月から1年生になるという期待感をもって小学生と遊び、親しみや憧れの気持ちをもつ。</p> <p>【小】 児童：これまでの交流の成果を生かし活動を工夫するとともに最高学年になるという自覚を高める。</p>
<p>事前の準備</p> <p>当日の流れ</p>	<p>① 連携教育担当者が相互に連絡を取り合う。</p> <p>② 事前に打ち合わせ会を開き、内容や方法について相談し合う。</p> <p>③ 年長児が小学生に「保育所・幼稚園で一緒に遊びましょう」と招待状を出す。</p> <p>④ 5年生が保育園・幼稚園に行く。</p> <p>＜お正月遊びをする＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全体会をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶を交わす。 ・ 諸注意を聞く。 ○ 1対1や数人のグループに分かれ、何をして遊ぶか相談する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定されたコーナーで遊ぶ。 (こま回し、かるた、すごろく、凧あげ 等) ・ 各グループで、楽しかったことを話す。 ○ 終わりの会をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかったことを話す。 ・ 園歌や校歌など歌を歌う。 ・ さようならの挨拶をする。 ・ 幼児が児童を玄関まで送る。 <p>⑤ 事後の反省会を保育者・教員間で行う。その際、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や「就学前教育スタンダード」を手掛かりに、こどもの学び、育ち、発達等について共有する。</p>
配慮点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に、教職員間で、内容や方法について相談し合う。 ○ 安全面に気を付ける。 ○ 保育所・幼稚園での幼児の生活の様子を見て、幼児理解をし、新年度の指導に生かす。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児が1年生になるという期待感や、5年生に親しみの気持ちをもてましたか。 ○ 児童が4月から6年生になるという期待や自覚の気持ちをもって幼児に優しく接しましたか。 ○ 保育者は、幼児が小学生になることに期待感をもてるような援助ができましたか。 ○ 小学校教員は、児童が、最高学年になる自覚をもてるような援助ができましたか。



g 小学校訪問

活動名	<p align="center">「わくわく小学校」 (校内めぐり、授業体験、給食体験)</p>
時期	<p align="center">1月～2月頃</p>
ねらい	<p>【保幼】 幼児：学校生活を体験し、保育所や幼稚園での生活との違いに気付き、入学に期待感をもつ。 【小】 児童：幼児に学校生活について教える活動を通して自らの成長に気付く。</p>
<p>事前の準備</p> <p>当日の流れ</p>	<p>◇ 連携教育担当者が日程調整や内容について連絡を取り合う。 <校内めぐり> ○ 校長に挨拶をする。 ○ 給食室・図書室・保健室等、校内の施設を見て回る。</p> <p><授業参観・体験> ○ 授業を参観する ・ 静かに学習の様子を見る。 ・ 小学校生活や学習について説明を聞く。 ○ 授業を体験する ・ 1年生と幼児がペアをつくる。 ・ ペアの児童に名前を言う。 ・ 1年生の机、椅子に着席させてもらったり、ランドセルを背負わせてもらったりする。 ・ 教科書やノートを見たり、使ったりする。 ・ 1年生が幼児の名前を書く。 ・ 幼児が自分の名前を書く。</p> <p><給食体験> ○ 校長や栄養士から給食の話聞く。 ○ トイレ・手洗いを済ませる。 ○ 1年生が配膳する。 ○ 給食を食べる。 ○ 1年生に教えてもらいながら片付ける。 ○ 校長に挨拶をして帰る。</p> <p>◇ 事後の反省会を保育者・教員間で行う。その際、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や「就学前教育スタンダード」を手掛かりに、こどもの学び、育ち、発達等について共有する。</p>  
配慮点	<p>○ 幼児の個人差を考慮し、一人一人に応じた対応をする。 ○ 給食を体験する場合は、アレルギーについて事前に把握し対処する。 ○ 好き嫌いのある幼児も楽しく食べられるようにする。</p>
評価の観点	<p>○ 児童が幼児との関わりを通して、自信をもったり自らの成長に気付いたりできましたか。 ○ 幼児が入学に期待をもつことができましたか。 ○ 保育者と小学校教員がお互いに、本活動を通して、幼児、児童が経験したことや成長等について共有できましたか。</p>

h 保育者・小学校教員による入学前の情報交換会

活動名	「バトンをつなぎます」
時期	2月～3月頃
ねらい	新1年生がスムーズに学校生活をスタートできるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりにするなどして、幼児の育ちや指導方法などについて話し合う。
事前の準備	<ul style="list-style-type: none"> ① 連携教育担当者が相互に連絡を取り合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 日時の決定 ○ 情報交換の内容確認 ② 保育参観 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の教員が保育所や幼稚園に来て、入学前の幼児の生活や遊びの姿を参観し、幼児の生活の実態や発達の様子を見る。 ③ 情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育者、小学校教員同士で自己紹介をする。 ○ 保育者が、保育所・幼稚園の生活について説明する。 ○ 当該の小学校へ入学予定の幼児について説明する。 ○ 特別に配慮を必要とする幼児については、詳細に説明するとともに、「江東区就学支援シート」や「学校生活支援シート〔江東区版〕（個別の教育支援計画）」等を引き継ぐ。
当日の流れ	<p style="text-align: center;">【様式の問い合わせ先】</p> <p style="text-align: center;">江東区教育委員会 教育支援課 特別支援教育係 Tel：3647-9175</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意見交換の時間をとる。 ④ 小学校が作成した次年度のスタートカリキュラム案について、保育者が意見する機会をもつ。
配慮点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校教員が保育参観をし、保育所や幼稚園の生活や育ちの様子を実際に見て、4月からの新1年生の指導に生かす。 ○ 決められた時間内に情報交換ができるように、話し合う内容を簡潔に説明できるようにまとめておく。 ○ 有効な支援方法や配慮事項など必要な情報は確実に伝え、必ず新1年生の担任に伝達してもらうようにする。 ○ 個人情報の扱いには十分に配慮する。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の教員が、保育参観を通して、保育所や幼稚園の教育内容について理解できましたか。 ○ 入学予定の幼児の情報を的確に伝えることができたか。 ○ スタートカリキュラムについて、意見交換ができましたか。

(3) 保育所・幼稚園と小学校の連携・接続ステップ表

このステップ表は、連携教育を進める上での、連携や接続の段階の目安を示したものです。連携チェック表の欄を活用して、自校園の運営の参考としてください。

あなたの園、学校ではどうですか。

	段階	保育所・幼稚園	小学校	連携チェック表	
第一ステップ	初めの一歩段階	<input type="checkbox"/> 近隣の保・幼・小の場所の確認 <input type="checkbox"/> 園だよりを保・幼・小に配布 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校への散歩 校庭利用 校内見学	<input type="checkbox"/> 近隣保育所、幼稚園の場所確認 <input type="checkbox"/> 学校だよりを保・幼に配布 <input type="checkbox"/> 保育所、幼稚園の学校利用を促進 <input type="checkbox"/> 学校公開案内の配布	① 近隣の保・幼・小の場所を知っていますか。	はい ・ いいえ
				② 毎月のたよりを交換していますか。	はい ・ いいえ
第二ステップ	互いに知り合い親しむ交流段階	<input type="checkbox"/> 学校公開の授業参観 <input type="checkbox"/> 小学校と交流活動の打ち合わせ <input checked="" type="checkbox"/> 高学年と交流 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の使用（校庭で運動会、校庭で凧あげ等） <input checked="" type="checkbox"/> 小学生を保育所・幼稚園に招待 小学生と一緒に遊ぶ 小学生に親しみや憧れの気持ちをもつ <input checked="" type="checkbox"/> 小学校行事への参加・見学 小学校や小学生に親しむ	<input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園の施設見学、保育参観 <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園との事前打ち合わせ <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園で遊ぶ 幼児と一緒に遊ぶ お兄さん先生、お姉さん先生として関わる <input checked="" type="checkbox"/> 小学校行事への招待 児童が誘導、案内、説明 学校まつり、運動会、学芸会、展覧会等	③ 互いに挨拶をしたことがありますか。	はい ・ いいえ
				④ 授業・保育参観をしたことがありますか。	はい ・ いいえ
				⑤ いずれかの保・幼・小と交流したことがありますか。	はい ・ いいえ
第三ステップ	互恵性のある交流段階	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教育への滑らかな接続を目指した交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生と一緒に活動する こま回し・鬼ごっこ・絵本の読み聞かせ等 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校の授業への参加 生活科、食育の話等 <input checked="" type="checkbox"/> 給食体験 <input type="checkbox"/> 小学校教員との事前・事後の打ち合わせ（連絡会） <input type="checkbox"/> 指導案の作成 <input type="checkbox"/> 小学校教員と連携した指導 <input type="checkbox"/> 小学校の校内研究会への参加 <input type="checkbox"/> 保・幼・小の研究発表会への参加	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校教育への滑らかな接続を目指した交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 幼児と一緒に活動する 地域の清掃、花壇の花の栽培等 <input checked="" type="checkbox"/> 幼児を授業へ招待 生活科（1年生、2年生） <input checked="" type="checkbox"/> 食育の話をする <input type="checkbox"/> 保育士・幼稚園教員との事前・事後の打ち合わせ（連絡会） <input type="checkbox"/> 指導案の作成 <input type="checkbox"/> 保育士・幼稚園教員と連携した指導 <input type="checkbox"/> 小学校教員による保育参観 <input type="checkbox"/> 校内研究会に保育士・招待 <input type="checkbox"/> 保・幼・小の研究発表会の参加	⑥ 《保・幼の方へ》幼児が小学校の授業に参加したことがありますか。	はい ・ いいえ
				⑦ 《小学校の方へ》児童が保・幼の保育に参加したことがありますか。	はい ・ いいえ
				⑧ 小学校は保・幼の、保・幼は小学校の研修会・研究発表会に参加したことがありますか。	はい ・ いいえ
第四ステップ	小学校への滑らかな接続を意識する段階	<input type="checkbox"/> 入学前情報交換会 2月 小学校教員と話し合う <input type="checkbox"/> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに小学校教員とこどもの姿を共有する <input type="checkbox"/> 近隣の小学校のスタートカリキュラムの作成に携わる <input type="checkbox"/> 入学後情報交換会 4月 小学校教員と新1年生の状況について話し合う	<input type="checkbox"/> 入学前情報交換会 2月 保育士・幼稚園教員と話し合う <input type="checkbox"/> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに保育士・幼稚園教員とこどもの姿を共有する <input type="checkbox"/> 近隣の保育所・幼稚園と意見交換してスタートカリキュラムを作成する <input type="checkbox"/> 入学後情報交換会 4月 保育士・幼稚園教員と新1年生の状況について話し合う	⑩ 入学前・後の情報交換会をしたことがありますか。	はい ・ いいえ
				⑪ 小学校教育への滑らかな接続を目指した園・校の連携ができていますか。	はい ・ いいえ

●…幼児・児童を中心とした連携・接続

□…保育者・小学校教員を中心とした連携・接続

第3章

就学前教育（幼児期の教育）

の指導計画例



		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形への関心・文字	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との関わりを基盤にして新しい環境に慣れ、気に入った場や遊具で遊ぶとする。 ・保育者の愛情を感じ取り、安心して生活する。 ・身の回りのことや自分でできそうなことを、保育者と一緒に行いながら園での生活の仕方を知る。 										
内容	【学びの芽生え】 <small>確かな学力につながる</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で体験したことのある遊具で好きな遊びを楽しむ。 ・飼育動物や栽培している植物など、身近な自然に触れる。 ・保育者や入園前から知っている友達と挨拶をする。 ・保育者にやりたいことを伝えようとする。 ・保育者の声掛けに応えようとする。 ・保育者が行う手遊びや歌、リズム遊びを喜び、まねをして一緒にしようとする。 ・身近にある遊具を使って見立てたりままごとをしたりする。 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【人との関わり】 <small>豊かな心につながる</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に過ごす。 ・誕生会や子供の日の集いなどの集会があることを知り、保育者と一緒に参加する。 ・保育者との触れ合いを通して、安心して生活や遊びを楽しむ。 ・みんなで過ごすために必要な約束を知る。 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【生活習慣・運動】 <small>健やかな体につながる</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の仕方や1日の流れを知る。 ・所持品の始末や身支度を保育者と一緒に行ったり、保育者の声掛けでトイレに行ったりする。 ・保育者と一緒に戸外で遊ぶことを楽しむ。 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
援助のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・進級児は徐々に新しい環境に慣れて2歳児までの生活を引き継いでいけるように、新入児は自分の居場所を見つけて安定できるように、体験や生活の流れの違いを考慮して接していく。 ・保育者は、温かい態度で一人一人に接しながら、こどもが生活に慣れていけるように、手を添えたり繰り返し知らせたりして、個人差に配慮した援助を行うようにする。 ・生活の流れを具体的に知らせて、安心して過ごせるようにする。 ・進級児の不安や甘えを受け止め、一人一人が安心して過ごせるようにする。並行して、進級児が新入児に持ち物の場所を教える機会をつくるなど、できることを生かしながら遊びや生活の中で力を出すことで、進級した喜びにつなげていく。 										
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・進級、入園による喜びや不安を受け止め、園の様子を伝えるとともに家庭での様子を聞き、幼児も保護者も安心して園生活を楽しむことができるようにする。 ・幼児が自分で身の回りのことができるように、扱いやすい所持品の用意を具体的に依頼する。 										

※ 「内容」は主に新入園児を想定したもの

		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点																		
			健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形・標識や文字への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現								
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの環境や様々な活動に興味や関心をもち、関わって遊ぶようにする。 同じ場にいる友達と一緒にいたい友達に親しみを感じ、関わることを楽しむ。 身の回りのことや自分でできることを行おうとする。 																		
内容	〔学びの芽生え〕 確かな学力につながる	<ul style="list-style-type: none"> 自分のしたい遊びや、気に入った遊具や場を見つけて繰り返し遊ぶ。 砂や水などで遊び、開放感を味わう。 飼育動物や園庭の虫や草花など、身近な自然に触れて楽しむ。 保育者や友達と挨拶を交わしたり、思ったことを話したりする。 「入れて」「貸して」などの遊びに必要な言葉を使ったり、友達の言葉を聞いたりする。 楽しかったことを保育者に言葉で伝えようとしたり、困ったことや分からないことを、表情や動きに表したりする。 保育者と一緒に絵本や紙芝居を楽しむ。 身の回りにあるいろいろな素材に関わり、感触を味わう、見立てる、作るなどして遊ぶ。 ままごとやごっこ遊びを喜び、つもりになって楽しむ。 歌ったり、手遊びやリズム遊び、簡単な表現遊びをしたりすることを喜ぶ。 	○	○					○	○	○									
	〔人との関わり〕 豊かな心につながる	<ul style="list-style-type: none"> 友達の動きをまねたり、同じように遊んだりすることを喜ぶ。 クラスの友達と一緒に動いたり、誕生会や季節行事などの集会に参加したりして、楽しむ。 生活や遊びの中で、自分の思いを動きや言葉で、保育者や友達に伝えようとする。 友達と関わって遊ぶ中で、保育者の仲介の下、相手に自分とは違う思いがあることを感じる。 生活や友達との関わりの中で、よいことと悪いことに気付く。 みんなで過ごすために必要な約束や、簡単な遊びのルールが分かる。 		○	○			○											○	○
	〔生活習慣・運動〕 健やかな体につながる	<ul style="list-style-type: none"> 1日の生活の仕方や流れが分かり、安心して生活する。 所持品の始末や身支度の仕方、トイレの使い方が分かり、自分でやろうとする。 汚れたりぬれたりしたら気持ちが悪く感じ、自分で着替えようとする。 食事の準備や片付けの仕方が分かり、できることを自分でやってみる。 戸外に出て遊ぶことを喜び、保育者と一緒に追いかけて遊んだり、気に入った遊具で遊んだりして、体を動かすことを楽しむ。 みんなと一緒に体を動かす楽しさや、戸外で遊ぶ心地よさを感じる。 	○	○				○				○								
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 友達への関心が出てくる時期なので、友達と一緒に動く楽しさが感じられるような活動を取り入れていく。 砂や泥、水などと関わり、開放感を味わって遊ぶことで、自分の思いを十分に出せるようにしていく。 長期休業がある場合、生活のリズムが年度初めの頃に戻ることが予想される。保育者との関わりの中で個人差に配慮した援助を行い、園生活のリズムが取り戻せるようにする。 																			
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が保育に参加する機会をつくり、体験を通して幼児の姿を知ったり、保護者同士の関わりを深めたりして、園の保育・教育に関心がもてるようにする。 排便後の始末（トイレトペーパーの使い方や拭き方など）について具体的に知らせ、家庭と一緒に進めていく。 																			

	ねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点										
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形、標識や文字への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現	
内 容	<p>確かな学力につながる 【学びの芽生え】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな遊びを繰り返し楽しむ。 身近なものの色、形、多い、少ないなどの違いに気付く。 好きなものになりきったり見立てたりして遊ぶ中で、感じたり考えたりしながら自分のイメージを表現して、楽しむ。 落ち葉や木の実、球根など自然物への関心をもち、気付いたり見立てて遊んだりする。 遊びやおしゃべりの中でやり取りを楽しみながら、生活に必要な言葉を増やしていく。 好きな絵本や紙芝居ができ、何度も読んでもらったり、見たりして楽しむ。 カスタネットや鈴、手作り楽器などで遊び、自由に鳴らしたり音色を楽しんだりする。 自分なりのイメージをもって、描くことや作ることを楽しむ。 絵本や紙芝居を見て、好きな言葉を言ったりなりきって表現したりする。 		○					○		○		○
	<p>豊かな心につながる 【人との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達と同じ遊びや生活を楽しんで行く。 「友達と同じことがしたい」という気持ちが高まり、一緒に遊ぼうとする。 自分の気持ちや困っていること、してほしいことなどを、保育者に自分なりの言葉や方法で伝えようとする。 行事を通して異年齢の幼児と触れ合い、楽しさを感じたり、年長児に対する憧れを感じたりする。 保育者や友達と簡単なルールのある遊びを楽しむ。 遊びの中で遊具の安全な使い方や動きに気付く。 			○	○		○			○	○	
	<p>健やかな体につながる 【生活習慣・運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手洗いやうがいの大切さを知り、自分で行う。 箸の持ち方を知り、箸を使って食事をしようとする。 走る、踊る、鬼ごっこをするなどみんなと一緒に体を動かすことを楽しむ。 音楽に合わせてリズム遊びやボールを蹴る、ブランコに乗るなど、遊具を使った運動遊びを楽しむ。 	○	○							○	○	
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージや見立て、言葉や動き、造形遊びなどで伸び伸びと表現する喜びを大切に。 一緒にいたい友達と関われるようにコーナーや遊びの場の配置に留意し、自分なりに思いを言葉や行動に表している姿を認め、安心して遊べるようにする。また、クラスの友達と一緒に活動する楽しさを味わえるようにする。 											
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 園で楽しんでいる秋の自然に関わる遊びや、散歩コースの紅葉や木の実を拾える場所などをクラスだよりや写真の掲示などで知らせ、家庭でも自然に親しむとともに、親子の関わりを大切にする。 											

		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点													
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形への関心・意識	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現				
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを出しながら好きな遊びを十分に楽しむ。 保育者やクラスの友達と一緒にリズム遊びや表現遊びを楽しむ。 園生活に必要なことが分かり、できることを自分からしようとする。 													
内容	【学びの芽生え】 確かな学力につながる	<ul style="list-style-type: none"> 風の冷たさや息の白さなど、冬の自然の変化を見たり、触れたりして体で感じる。 花の開花や日差しなどから春の訪れを感じる。 生活に必要な言葉が分かり、自分なりに使おうとする。 思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。 保育者や友達と、簡単ななぞなぞや反対言葉などを楽しむ。 身近にある素材や材料（広告紙、小さく切った紙、小箱、カップなど）を、自分なりに選び、作ることを楽しむ。 リズムに合わせて身近な楽器を鳴らすことを楽しむ。 絵本やお話のイメージを楽しみ、なりたいものになったり動いたりするなど、自分なりの表現を楽しむ。 													
	【人との関わり】 豊かな心につながる	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達のしている遊びに興味をもち、自分も関わりながら遊ぶ。 一緒に遊びたい友達と同じ場で遊ぶ中で、自分なりの動きを出す。 自分の思っていることやしたいことなどを言葉や動きで表しながら遊ぶ。 保育者に励まされながら様々なことに取り組み、できたことを喜び、大きくなったことを感じる。 生活や安全に必要な簡単なきまりが分かる。 													
	【生活習慣・運動】 健やかな体につながる	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物の整理や遊びの片付けなど自分のことは自分でしようとする。 身の回りで必要なことを自分からしたり、できるようになったことを喜んだりする。 やけどに気を付ける、戸外に出るときは上着を着るなど、冬の生活に必要なことを知り、自分からやってみようとする。 寒くても戸外に出て、保育者やみんなと一緒に簡単なルールに沿って体を動かして遊ぶことを楽しむ。 散歩を通して、坂道や歩きにくい所もしっかりと最後まで歩く。 戸外で遊んだり固定遊具や巧技台を使って遊んだりするを通して、いろいろな体の動きを楽しむ。 													
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 友達との遊びを楽しんでいることを十分に受け止め、共感する。 幼児が自分から気付いてやってみようとする姿やできるようになったことを認めて、進級する気持ちへつなげていく。 														
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の1年間の成長を具体的に保護者と伝え合い、喜びを共感しながら進級する気持ちへつなげる。 個人差が大きく進級に向けての不安な気持ちをもつこともあるが、今できることを十分に認め、成長を見守ってもらうようにする。 														

		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点																			
			健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形などへの関心・意識	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現									
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れ、保育者との関わりを基盤に、自分の思いを表しながら遊んだり生活したりする。 気の合う友達や保育者と自分のやりたい遊びを楽しむ。 新しい環境での生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分なりにやってみようとする。 																			
内容	【学びの芽生え】 <small>確かな学力につながる</small>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が安定できる場や遊具で遊ぶことを楽しむ。 気に入った遊びを見つけて楽しむ。 花びら、葉、虫など身近な自然を遊びの中に取り入れて遊ぶ。 遊びに必要な言葉があることに気付き、使ってみる。 自分の思ったことを言葉で表す。 保育者が読んでくれた絵本に興味をもつ。 友達の動きをまねたり、自分と同じような動きに関心をもったりする。 	○	○		○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
	【人との関わり】 <small>豊かな心につながる</small>	<ul style="list-style-type: none"> クラスのみんなどいることを楽しいと感じ、安心して過ごす。 保育者に親しみをもち、安心して関われる存在であることを感じる。 思ったことや感じたことを表情、態度、言葉などで自分なりに表現する。 園生活に必要なきまりがあることや、「ありがとう」「ごめんね」など友達との関わりに必要な言葉があることを知る。 	○		○	○										○	○				
	【生活習慣・運動】 <small>健やかな体につながる</small>	<ul style="list-style-type: none"> 園での過ごし方を知る。 危険な物や場所を知る。 できることは自分なりにやってみる。 園での食事の仕方を知り、楽しく食べる。 友達や保育者の動きをまねたり、自分なりの動きを楽しんだりする。 戸外に出て歩いたり走ったりしながら体を動かして遊ぶことを楽しいと感じる。 	○	○	○		○	○					○	○							○
援助のポイント		<ul style="list-style-type: none"> 進級児はできるだけ自分で行動できるような分かりやすい環境を構成し、進級した喜びが味わえるようにする。新入児は、みんなで一緒に生活することを楽しめるようにする。 それぞれの幼児のペースを大切に、新しい環境に慣れていくようにする。 新しい保育者や友達に親しみを感ぜられるような言葉を掛け、安心して過ごせるようにする。 友達と同じ場で過ごしたり関わりをもったりできるように、遊びの場を設定したり遊具の数を十分に用意したりする。 																			
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> 進級や入園による喜びや不安に対して、共感したり励ましたりしながら、一緒に幼児を支えていけるようにする。 4歳児は友達との関わりが増えるので、トラブルや友達関係などの不安なことは、担任をはじめとした園の職員にいつでも相談できることを伝え、1年間の成長を共に見守っていけるような関係づくりに努める。 園での様子を伝えたり家庭での様子を聞いたりしながら、保護者との信頼関係を築いたり深めたりしていく。 																			

※ 「内容」は主に新入園児を想定したもの

ねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点										
	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形への関心・文字	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現	
<ul style="list-style-type: none"> 様々な素材に触れ、取り入れて遊ぼうとする。 気の合う友達と互いの思いを出して遊ぶことを楽しむ。 クラスの活動で自分なりに動いたり同じ動きをしたりすることを楽しむ。 											
内容	「学びの芽生え」 <small>確かな学力につながる</small> <ul style="list-style-type: none"> 身近な虫や小動物などに触れたり、園庭の草花や栽培している植物に興味をもって、生長を楽しみにしたり収穫することを喜んだりする。 砂や泥、水などの自然物に触れて感触を楽しみながら遊ぶ。 保育者の仲立ちによって、思ったことや困ったことを言葉で相手に伝えようとする。＜新入園児＞ 自分の思いや困ったことを保育者や友達に伝えようとする。 絵本の読み聞かせを楽しんで聞く。 歌や絵本、リズムのある言葉に関心をもち、一緒に口ずさむことを楽しむ。 身近な素材を使って作ることや、作ったものを使って遊ぶことの楽しさを感じる。＜新入園児＞ 身近な素材を使い遊びに必要なものやイメージしたものを作る楽しさを感じる。 新しい素材や材料に興味をもって関わり、必要なものを使ったり作ったりして遊ぶ。 	○		○			○	○	○		
	「人との関わり」 <small>豊かな心につながる</small> <ul style="list-style-type: none"> みんなで取り組む遊びや活動に喜んで参加し、友達に親しみをもつ。 友達と同じものを身に付けたり、一緒に動いたりする楽しさを感じる。 思い通りにならないことがあるときに保育者に思いを受け止めてもらい、我慢したり気持ちを切り替えたりする。＜新入園児＞ 受け入れてくれる友達に自分の思いや感じたことを伝えようとする。 友達の言葉や動きに気付き、自分なりに応じていく。 安全に過ごすための約束やきまりを知り、守ろうとする。 集団行動の約束や保育者の指示を聞き、動こうとする。 ルールを守ると楽しく遊べるのが分かる。 	○		○	○					○	○
	「生活習慣・運動」 <small>健やかな体につながる</small> <ul style="list-style-type: none"> 園生活の流れが分かり、自分から動く。＜新入園児＞ 天候に合った生活の仕方を知り、自分で行おうとする。 園外に出たときの行動の仕方を知る。＜新入園児＞ 夏野菜の収穫を通して、みんなで一緒に食べる楽しさや食べられたうれしさを感じる。 保育者や友達と一緒に、音楽に合わせて踊ったり体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。 プール遊びを通して、水の中での動きを楽しみ、開放感を味わう。 	○	○		○	○		○	○	○	○
援助のポイント <ul style="list-style-type: none"> 友達とのつながりができてくるので、思いを表したり伝えたりすることを楽しめるように、いろいろな友達の姿を伝えたり、思いが伝わり合うように言葉を補ったりしていく。 いろいろな素材や用具に触れられる機会を設け、扱い方を知ったり遊びに取り入れたりしていく楽しさを味わえるようにする。 プール遊びの約束、着替えや水着の始末の仕方などを分かりやすいように工夫して伝え、プール遊びに期待をもち、楽しく取り組めるようにする。 											
家庭との連携 <ul style="list-style-type: none"> 遊びや友達同士の関わり方など、様々な様子が見られる時期である。言葉の使い方や思いの表し方などの実態や、相手への関わり方に気付いていけるように保育者が援助していることをクラスだよりなどで知らせ、家庭への理解を図るとともに、一緒に成長を見守っていけるように連携を図る。 大人が先に指示をしたりせず、幼児が自分で行おうとしている気持ちを尊重し、温かく見守っていくことが自信や意欲につながっていくことを知らせる。 											

	ねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点									
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形、標識や文字	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
内容	<p>確かな学力につながる 「学びの芽生え」</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な自然の変化に気付いたり、草花を遊びに取り入れたりして楽しむ。 繰り返し遊ぶ中で自分なりのやり方を試したり工夫したりする。 身の回りの物に触れたり使ったりして遊ぶ中で、物の性質（重い、軽い、硬い、柔らかい、伸びる、縮むなど）に気付く。 運動会などの行事を通して、様々な国などの旗があることを知り、関心をもつ。 遊びや友達との関わりの中で、自分の思いを動きや言葉で表していく。 保育者や友達に親しみをもって挨拶をしたり、会話を楽しんだりしながらつながりを感じる。 気に入った絵本を保育者に読んでもらったり、自分で見たりする。 友達と一緒に伸び伸びと体を動かして踊ったり、自分なりの表現を楽しんだりする。 遊びや行事の中で、身に付ける物や使う物を作り、それを使って遊ぶ。 										
	<p>豊かな心につながる 「人との関わり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で思いや考えを出し合いながら、友達との関わりを楽しむ。 クラスのみなどと一緒にルールのある遊びをして、遊ぶ楽しさを味わう。 友達との遊びの中で、思うようにならないことを体験し、相手にも思いや考えがあることに気付く。 年長児と一緒に行事に参加して、親しみや憧れを感じる。 みんなの中で、伸び伸びと自分を出して遊ぶ。（かけっこ、リズム、運動会に向けての活動など） 行事を通して様々な人（職員、他の保護者、地域の人など）と関わり、親しみをもつ。 集団遊びやゲームを通して、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わう。 約束やルールを守ることでみんなが気持ちよく過ごせることを感じる。 										
	<p>健やかな体につながる 「生活習慣・運動」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りの物の始末や、使った物の片付けを自分でしようとする。 生活に必要なことが分かり、自分からやってみようとする。 安全に過ごすための約束やきまりが分かり、守ろうとする。 いろいろな動きを試しながら、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 用具や遊具の使い方に慣れ、組み合わせて場をつくって遊ぶ。 										
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 幼児同士で思いがぶつかる時は、保育者が双方の思いをくみ取りながら相手の思いに気付けるように仲介していく。その後の手立てを一緒に考え、心を落ち着けたり気持ちを切り替えたりして遊べるようにする。 遊びの中で、いろいろな動きを試せるような用具を使ったり、幼児が興味をもっているイメージを取り入れたりして、自然に体を動かして遊ぶ気持ちが高まっていくようにする。 										
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の遊びを積み重ねることが行事の内容やそこでの幼児の姿に生きることを、懇談会やクラスだよりなどで伝える。また、例えば運動会に向けては、勝ち負けやできばえのみにこだわらず、楽しんでいることや自分なりに頑張っている姿を大事にするなど、行事で大切にしたいことを伝え、共通理解を図る。 運動会や保育参観など保護者の参加、協力の機会が増えるので、共に子育てをする喜びや保護者同士のつながりを感じられるような内容、方法を工夫する。 										

		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点										
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形への関心・意識	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで遊びの場をつくったり、見たことや感じたことを様々な方法で表現したりして遊ぶことを楽しむ。 遊びや生活の中で、クラスの友達とみんなで活動する楽しさを味わう。 季節の変化に伴い、生活の仕方が変わることを知る。 										
	内容	<p>【学びの芽生え】 確かな学力につながる</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節による自然の変化に気付き、木の実や落ち葉など自然物を使って遊ぶことを楽しむ。 身近な用具の扱い方が分かり、目的に合わせていろいろな使い方があることを知る。 いろいろな材料や素材に触れる中で、数量、物の色、形などに興味をもつ。 保育者や友達との会話を楽しむ。 絵本やお話などを喜んで見たり聞いたりして、イメージを広げる。 絵本や歌の中にある面白い言葉に気付き、喜んだり繰り返したりする。 みんなで歌ったり、簡単なリズム楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 お話の中の人や動物などになりきって遊ぶ。 自分のイメージに合わせて材料を選ぶ、組み合わせる、見立てるなどして使う。 思ったことを自由に描いたり作ったりすることを楽しみ、見たり飾ったりする。 										
		<p>【人との関わり】 豊かな心につながる</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊びの場をつくり、イメージを出し合いながら遊ぶ。 友達の動きに関心を持ち、その動きに合わせて応じたりして動く楽しさを感じる。 簡単なストーリーや遊びの流れの中で、相手と自分の動きが関わり合いながら遊びが進んでいく面白さを感じる。 友達との遊びの中で自分の思ったことを言葉や動きに表し、それを相手に受け止めてもらえた喜びを感じる。 保育者の言うことを受け止めて、行動しようとする。 友達と生活する中でできまりの大切さを感じ、自分なりに守ろうとする。 共同の遊具や用具を大切にし、貸し借りをして使ったり一緒に片付けたりする。 										
		<p>【生活習慣・運動】 健康な体につながる</p> <ul style="list-style-type: none"> 手洗い、うがいの大切さが分かり、自分からすすんで行く。 自分の身の回りの物の始末や片付けなどの仕方が分かり、すすんで取り組む。 必要に応じて、衣服の調節を自分で行う。 友達と一緒に、鬼遊びやしっぽ取りなど簡単なルールのある遊びを楽しむ中で、思い切り体を動かす。 いろいろな遊具や用具を使って、様々な動きを組み合わせる遊ぶ。 										
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊びたい気持ちが強くなってくるので、友達との関わりの中で、相手の気持ちに気付くように、個々の思いを保育者が受け止めながら、言葉で相手に伝えていく。 遊びの中で「こうしたい」という幼児の思いを受け止め、イメージや目的に合うような素材や材料と一緒に見付けたり提示したりするなど保育者が積極的に支え、自分たちで遊ぶ楽しさを十分に味わえるようにする。幼児が思い付いたことを自分で実現できたと思えるような援助の工夫をする。 											
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談を設定し、日常生活での幼児の取組や友達との関わりの中で変容した姿を伝える。成長したことで見えてくる個々のよさや課題を保護者と共有し、一緒に子育てに取り組み、成長を喜び合う関係を築いていく。 											

	ねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点										
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形などへの関心・認識・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現	
内容	【学びの芽生え】 確かな学力につながる	<ul style="list-style-type: none"> 冬の自然事象や冬から春への自然の変化に関心を持ち、感動したり疑問をもったりする。 今までに体験したことを思い出したり、遊びに取り入れたりする。 絵の表示、記号、文字などに興味や関心をもつ。 保育者や友達の話聞いて内容が分かったり、自分の思いを相手に言葉で伝えたりする。 日常生活に必要な言葉が分かり、すすんで使ったり、自分から挨拶をしたりする。 絵本や紙芝居などの話の展開を楽しむ。 友達と気持ちを合わせて歌ったり、合奏したりすることを楽しむ。 遊びに必要なものを工夫して描いたり作ったりし、それを使って友達と遊ぶ。 絵本やお話などのストーリーに沿って、自分のイメージを動きや言葉などで表現して遊ぶ。 		○				○	○	○		
	【人との関わり】 豊かな心につながる	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊びや活動を楽しみながら、やり遂げようとする。(1日入園での新入園児との関わり、お別れ会の計画、当番活動など) クラスのみなどと一緒に活動する中で、満足感を感じたりクラスとしてのつながりを感じたりする。 友達の前で自分の思ったことを表現し、受け止めてもらえるうれしさを感じる。 行事やクラスの活動の中で力を発揮したことを認められ、満足感や自信をもつ。 年長児と交流したり、当番の引き継ぎなどをしたりして、年長児の生活に期待をもつ。 よいことと悪いことに自分で気付き、自分なりに考えて行動する。 簡単なルールをつくったり、ルールを守ったりして、友達と一緒に遊びを楽しむ。 	○	○	○	○	○				○	
	【生活習慣・運動】 健やかな体につながる	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることは、自分でする。 自分の健康に関心を持ち、様々な食べ物をすすんで食べようとする。 気持ちよく食事をするために、挨拶や姿勢などのマナーに気を付ける。 行事を通して、伝統的な日本の食文化を知る。 寒さに負けず、戸外で全身を思い切り動かして友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 自分なりのめあてをもって縄跳びやフープなどに取り組み、積極的に体を動かして遊ぶ。 	○	○	○		○					○
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできたという自信がもてるように、個々に考えたり試したりしている姿を見守り、それぞれの状態に応じて相談に乗ったり、方向性を示したりする。 年長児の生活の仕方を聞いたり、当番活動の引き継ぎをしたりする機会を設け、年長児になることへの期待をもたせていく。 											
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の幼児の成長を振り返り、保護者と共に喜び合う。 幼児たちの進級に向けての活動の様子（お別れ会、新入園児との関わり、修了式への取組など）を伝え、保護者も一緒に進級に期待をもてるようにする。 											

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に自分から関わり、いろいろな遊びに取り組む。 ・自分のやりたい遊びをしたり、友達や保育者との関わりを楽しんだりしながらクラスのつながりを感じる。 ・年長児としての自覚をもち、生活の仕方が分かり、すすんで行う。 	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点									
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形・標識や文字	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
内容	<p>確かな学力につながる 「学びの芽生え」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動植物や自然現象に関心や親しみをもち、考える、試す、自然を取り入れて遊ぶなどする。 ・戸外の自然に接し、その美しさや季節の変化に興味をもつ。 ・イメージに合う材料や用具を選び、場の構成の仕方を工夫して遊びを楽しむ。 ・砂や泥や水などの感触を楽しんだり、特性に気付いて試したりする。 ・様々な行事などを通して、国旗に親しむ。 ・保育者や友達に対して、自分の思いや考えを自分なりの言葉で伝えようとする。 ・保育者や友達などに自分から挨拶をする。 ・身近な出来事について、感じたことや不思議に思ったことを言葉で表現する。 ・美しいものや心を動かされる出来事に会い、感じたことやイメージしたことを表現することを楽しむ。 ・体で感じたリズムや自分たちで考えた動きを伸び伸びと表現する。 ・新しい素材や教材を使い、考えたことを自分なりに作ったり描いたりして表現することを楽しむ。 ・友達と一緒に、遊びに必要なものを自分なりに工夫して作ることを楽しむ。 										
	<p>豊かな心につながる 「人との関わり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長になったことを喜び合い、友達と一緒に遊ぶ楽しさや友達とのつながりを感じる。 ・友達の考えを聞いたり、自分の考えや発見などを話したりして、伝えるうれしさを感じる。 ・うまくいかないことを通して、友達の考えや提案に気付き、受け止めようとする。 ・友達と一緒に最後まで活動する喜びを味わう。 ・自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたりする。 ・年下の幼児に対して親しみの気持ちをもって接する中で、年長児としての自覚をもつ。 ・友達の動きや言葉を感じ取りながら行動する。 ・新しい生活の中でのきまりの必要性を感じ、保育者や友達と一緒につくる。 ・友達との関わりの中でルールを理解し、守って遊ぶ楽しさを味わう。 										
	<p>健やかな体につながる 「生活習慣・運動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着脱など、自分で気付いて調整する。 ・手洗いやうがいなど、必要に応じて自分から行う。 ・新しい場での生活の仕方や片付け方を知ったり、1日の園生活の流れが分かって行動したりする。 ・すすんで戸外に出て、友達と体を動かして遊ぶ心地よさやルールのある遊びの楽しさを感じる。 ・新しい遊具に関わりながら使い方を理解し、安全に使おうとする。 										
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になり、張り切っている気持ちや、役に立ちたい気持ちを認めることにより、進級した喜びを十分に味わわせ、自信をもって行動できるようにする。 										
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・進級による喜びや不安に対して、保護者の思いに共感したり励ましたりして、一緒に幼児を支えていくようにする。 ・1年間の指導の概要や小学校との交流などの予定を伝え、年長の1年間に見通しをもって過ごせるようにする。 										

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな活動を通して、すすんで物事に取り組む楽しさや達成感を味わう。 ・みんなでする活動を楽しみながら、友達のよさに気づき、様々な友達への親しみを広げる。 ・自分の目的に向かって力を出すことの心地よさを感じ、十分に体を動かして遊ぶ。 	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点									
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形への関心・文字	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
内容	<p>【学びの芽生え】 確かな学力につながる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要な物の数、人数、適当な大きさ、長さ、バランスを考えて活動する。 ・遊びに使う簡単な標識や文字、数字に興味をもったり読んだりする。 ・遊びの中で数を数える、量を比べる、いろいろな図形に関心をもつなどする。 ・用途に合った素材を選んで使い、遊びに生かす。 ・自分の体験したことを話したり、友達の話を聞いたりする。 ・体験したこと、感じたこと、考えたことなどをみんなに分かる言葉で伝える。 ・話の内容を理解し、言葉の使い方、楽しさ、心地よさに気付く。 ・物語や話の続きに興味をもち、クラスの友達と楽しんで聞く。 ・動きや体を意識した表現を楽しむ。 ・体験したこと、感じたこと、考えたこと、イメージしたことなどを、様々な方法で自分なりに表現する。 	○	○				○	○		○	○
	<p>【人との関わり】 豊かな心につながる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と話し合いながら、自分たちで遊びを進めていく。 ・クラスや同年齢の友達、保育者と一緒に、目的に向かって役割を感じながら活動を進め、気持ちを合わせる心地よさややり遂げた満足感を味わう。 ・自分の考えと相手の考えの違いに気づき、受け入れようとする。 ・自分の力を発揮し、友達のよさに気付いたり認めたりしながら遊ぶ。 ・自分の身近な人（高齢者、年下の幼児、地域の人など）との関わりを通して、相手を思う気持ちをもつ。 ・ルール必要性や危険なことについて分かり、意識して行動する。 ・自分の行動の結果を、自分なりに考える。 	○	○	○		○			○		
	<p>【生活習慣・運動】 健やかな体につながる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所持品の整理や片付けをすすんで行う。 ・健康な生活、食事の大切さなどを知り、自分の体への関心をもつ。 ・1日の園生活の流れを予測したり、見通したりして状況に応じて行動する。 ・いろいろな運動遊びにすすんで取り組み、体を十分に動かして遊ぶ心地よさを味わう。 ・遊びのルールを確かめたり工夫したりして、友達と一緒に集団での遊びを楽しむ。 ・ルールのある遊びを通し、チームで競い合うことを繰り返し楽しむ。 	○	○				○				
<p>援助のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな活動の中で、幼児の挑戦しようとする気持ちを受け止め、目的が明確にもてるようにする。それぞれの頑張る姿をクラスの幼児に知らせ、よさに気付かせるとともに、みんなで喜び合う気持ちを高めていく。 ・友達との関わりの中で互いの思いを理解できるように、相手の言葉や表情、行動に自分から関心を向けられるようにする。 											
<p>家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりや保護者会などを通して、目的に向かって自分の力を発揮して取り組んでいく過程を伝え、日々の保育や行事などの様子から、幼児の成長を理解し喜びを感じてもらえるようにする。 ・体を動かすことで様々な意欲が引き出されることを伝え、幼児の伸びようとする力を園と家庭の両方で生かしていく。 											

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然や事象を見たり触れたりしながら、好奇心や探究心を深める。 ・共通の目的に向かって、工夫や協力、分担などをしながら遊びに取り組み、達成感を味わう。 ・チームで競い合う楽しさを味わいながら、十分に体を動かして遊ぶ。 	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点									
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形、標識や文字への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
内容	<p>確かな学力につながる 【学びの芽生え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びに応じて、必要な表示を考えたり文字や数字を取り入れたりする。 ・今までに体験した遊び方や遊具、素材などを遊びに取り入れる。 ・友達の意見や考えに刺激を受け、自分なりに考えようとする。 ・季節の変化に関心をもち、遊びに取り入れたり調べたりする。 ・理由を添えたり新しい提案をしたりして、自分の考えを分かち合ってもらえるように話す。 ・友達の話の内容を理解しようと、関心をもって聞く。 ・生活の場に応じた言葉の使い方や表現の仕方が分かる。 ・自分が表現したいことを材料や方法を選び、工夫して作ることを楽しむ。 ・絵本や物語に親しみをもち、想像を豊かにして表現する楽しさを味わう。 										
	<p>豊かな心につながる 【人との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達と共通の目的に向けて遊ぶ中で、一緒に進めていく楽しさや、やり遂げた満足感を味わう。 ・友達と考えを出し合って工夫することで、遊びがより面白くなることを十分に味わう。 ・自分の考えと相手の考えの違いに気付き、折り合いを付けて進めようとする。 ・友達との関わりの中で、自分の力を発揮していく。 ・友達のよさに気付いたり認めたりしながら、遊びを楽しむ。 ・相手の立場に立って、考えたり行動したりしようとする。 ・よいことや悪いことを自分で考えて行動する。 ・活動に合わせてルールを考えたり変えたりしながら、それを守って進める。 ・その時にすべきことが分かり、自分から行動する。 										
	<p>健やかな体につながる 【生活習慣・運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所持品の整理や片付けをすすんで行う。 ・共同のものの片付けの必要性を感じ、自分から片付けようとする。 ・1日の園生活の流れに見通しをもち、友達と声を掛け合って行動する。 ・健康な生活や病気の予防に関心をもち、意識して行動する。 ・交通ルールや公共のマナーを知り、気を付けて行動する。 ・いろいろな運動遊びにすすんで取り組み、体を十分に動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・遊具や用具、遊びに使う場所など安全に気を付けて遊ぶ。 										
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの取組の中で一人一人が十分に自己を発揮し、互いのよさや考えに触れて協同して遊べるような機会を意図的に設定する。 ・少し難しいことに向き合い、友達と一緒に工夫して乗り越えていく機会を意図的につくり、達成感を重ねられるようにする。 ・思いや考えの違いに気付き、グループの友達と折り合いを付けながら遊びを進めていくことができるように援助していく。 										
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達との活動を通して協同性が育まれ、小学校での生活や学習の基礎になることを伝えるとともに、自分の幼児やクラスへの理解が深まるようにする。 ・就学に向けて生活習慣などを園と家庭で見直していく機会をつくり、家庭でも意識をもって生活してもらえるようにする。 										

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや考えを様々な方法で表現し、いろいろな活動に楽しんで取り組む。 ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで遊びや生活を進め、充実感を味わう。 ・自分の体に関心を持ち、心身の成長を喜び合い、就学への期待をつ。 	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び「就学前教育スタンダード」の視点									
		健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形への関心・文字	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
内容	【学びの芽生え】 確かな学力につながる	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物や自然現象に関心を持ち、考えたり試したりして自然を取り入れて遊ぶ。 ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりして遊びに取り入れる。 ・日常生活に必要な文字や数字、標識などに興味や関心を持ち、遊びの中ですすんで使う。 ・小学校での授業の体験などを通して、入学への期待をもつ。 ・見る、聞く、感じる、考えるなどした体験を、自分なりの言葉で十分に表現する。 ・誰とでもすすんで挨拶を交わしたり、お礼の気持ちを言葉で伝えたりする。 ・話している人に気持ちを向け、自分の体験と重ね合わせながら、関心をもって話を聞く。 ・生活の中の様々なものに自分から関わり、いろいろな方法で伸び伸びと表現することを楽しむ。 ・みんなで気持ちを合わせ、歌や踊り、劇や楽器の演奏などをする。 ・友達と一緒に共通の目的を持ち、遊びの場や必要なものを作ったり描いたりする。 	○	○				○	○	○	
	【入との関わり】 豊かな心につながる	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや学年の友達とみんなで活動する楽しさが分かり、友達との連帯感を感じながら自分の力を発揮する。 ・自分たちで遊びや生活を進める充実感を味わう。 ・共通の目的や課題に向かって、友達と一緒に力を合わせてやり遂げる喜びを味わう。 ・自分の感じたことや考えたことを友達に分かるように伝え、友達の話を聞いて受け止める。 ・友達の得意な面やよさに気付き、生かし合って遊ぼうとする。 ・小学校との交流などを通して小学生と触れ合い、小学校を身近に感じる。 ・自分のことを認めてもらう体験を通して、自信をもって行動する。 ・自分たちで考えたルールを守って友達と一緒に遊ぶ。 ・今は何をすべきかを自分なりに判断し、状況に応じた行動をしようとする。 	○	○	○	○					○
	【生活習慣・運動】 健やかな体につながる	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理や片付けの必要性が分かり、協力してすすんで行う。 ・時間を意識しながら生活に見通しをもち、場や状況に応じた行動をとる。 ・交通ルールが分かり、守って行動する。 ・行事や体験を通して、伝統的な日本の食文化に関心をもつ。 ・友達と積極的に体を動かす運動に取り組み、競い合う楽しさや、ルールをつくってみんなで遊ぶ充実感を味わう。 ・運動用具の使い方が分かり、活用したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して安全に行動しようとする。 	○	○	○	○			○	○	
援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と互いのよさを生かし合いながら、試したり、発見したり、考えたりする楽しさを味わい、自分たちで取り組んだ充実感を十分に味わえるようにする。 ・生活の中で十分に自己発揮をしている姿を認め自信につながるように関わる。 ・様々な友達と関わる中で、それぞれが成長したことを認め合い、自信がもてるようにする。 ・就学に向けて期待が膨らむ思いを十分に受け止め、小学校入学への期待感をもてるようにする。 										
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会などで、小学校の生活や学習について具体的に伝える機会をもち、入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。 ・具体的な場面を通して幼児の成長を喜び合い、入学への期待につなげていく。 										

資料

令和〇〇年度 江東区連携教育実施報告書（保育園用） ※保・幼・小・中の書式があります

連携グループ 中学校区名	中学校区	保育園名	保育園
<p>1. 連携教育実施内容</p> <p>(1) 日々の幼児への指導において、小学校との円滑な接続を目指し実施してきたこと</p> <p>(2) 幼児が参加した、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校との交流活動等</p> <p>(3) 指導者の連携において、自園が取り組んだこと<実施した場合（ ）に○を付けてください></p> <p>①保育士が幼稚園の保育を参観した（ ）</p> <p>②保育士が小学校や中学校の授業を参観した（ ）</p> <p>③保育士が幼稚園との合同研究(修)会に参加した（ ）</p> <p>④保育士が小学校の校内研究会に参加した（ ）</p> <p>⑤保育士が中学校の校内研究会に参加した（ ）</p> <p>⑥保育士が保育園の保育に指導者として参加した（ ）</p> <p>⑦保育士が小学校の授業で指導した（ ）</p> <p>⑧保育士が中学校の授業で指導した（ ）</p> <p>⑨幼稚園の教員が、自園の保育に指導者として参加した（ ）</p> <p>⑩小学校の教員が、自園の保育に指導者として参加した（ ）</p> <p>⑪中学校の教員が、自園の保育に指導者として参加した（ ）</p> <p>⑫その他 ※具体的に記入してください</p> <p style="text-align: center;">（ ）</p> <p>2. 今年度の連携教育における成果と課題</p> <p>(1) 成果</p> <p>(2) 課題</p>			

記載者（ 職名： 氏名： ）

資料

令和3年度江東区連携教育グループ一覧

令和3年3月現在

第1グループ

中学	深川第一中学校	135-0004	森下4-9-22	3631-3241
小学	深川小学校	135-0005	高橋14-10	3631-2209
私幼	神明幼稚園	135-0004	森下1-3-17	3632-8793
区保	森下保育園	135-0004	森下3-14-6	3635-1537
区保	白河保育園	135-0021	白河1-7-1	3641-1198
公民	白河かもめ保育園	135-0021	白河1-5-1-101	3643-7671
私保	神愛保育園	135-0004	森下3-10-7	3633-1580
私保	あゆみ保育園	135-0004	森下3-18-10	5625-2030
私保	グローバルキッズ深川森下園	135-0004	森下4-10-8 2・3階	3635-1666
私保	グローバルキッズ深川森下園分園	135-0005	高橋2-4	3632-1755
私保	グローバルキッズ白河一丁目園	135-0021	白河1-7-5 1階	3641-6767
私保	太陽の子 森下三丁目保育園	135-0004	森下3-5-26	6659-3621
私保	グローバルキッズ森下五丁目園	135-0004	森下5-11-2	6659-6855
私小保	たかもり保育園	135-0005	高橋6-4	5600-2160
認証	グローバルキッズ森下園	135-0004	森下4-10-5 高洋マンション2階	3632-7070

第2グループ

中学	深川第二中学校	135-0041	冬木22-10	3641-2877
小学	明治小学校	135-0033	深川2-17-26	3641-0550
小学	八名川小学校	135-0007	新大橋3-1-15	3631-2260
私幼	月かげ幼稚園	135-0023	平野1-6-11	3641-6370
私幼	双葉幼稚園	135-0033	深川2-16-7	3641-5656
私幼	れいがん寺幼稚園	135-0021	白河1-3-32	3642-4228
区保	深川一丁目保育園	135-0033	深川1-6-15-101	3643-4845
私保	ワークスコープ新大橋のびっこ保育園	135-0007	新大橋2-17-9 1階	5625-2205
私保	ワークスコープ新大橋のびっこ保育園分園	135-0007	新大橋3-16-4 1・2階	5625-2205
私保	ゆめの森保育園	135-0004	森下1-2-2	6666-9088
私保	ナーサリールームベリベアー深川冬木	135-0041	冬木1-5	5875-8628
私保	まこと保育園	135-0041	冬木16-7	3641-1428
私保	グローバルキッズ平野園	135-0023	平野1-3-10	5809-8872
私小保	おうち保育園門前仲町	135-0033	深川2-6-10	6240-3955
私小保	小鳩スマート保育所冬木	135-0041	冬木22-24	6458-5404
認証	グローバルキッズ常盤園	135-0006	常盤2-14-17 リバーハイツ1階	5600-0202
認証	ハッピーマム福住	135-0032	福住1-14-2 コスモビアビル1階	6458-8822
認証	マミーナ門前仲町	135-0033	深川1-1-2 協和ビル2階	5637-8041

第3グループ

中学	深川第三中学校	135-0044	越中島3-7-1	3641-5948
小学	臨海小学校	135-0048	門前仲町1-1-6	3641-0403
小学	越中島小学校	135-0044	越中島3-6-38	3643-9650
小学	数矢小学校	135-0047	富岡1-18-7	3642-0476
区幼	ちどり幼稚園	135-0045	古石場1-11-11	3642-1460
私幼	琴平学園	135-0045	古石場2-15-8	3642-3880
区保	古石場保育園	135-0045	古石場2-14-1-102	3643-0593
公民	塩浜保育園	135-0043	塩浜1-3-10	3647-0480
私保	アスクもんなか保育園	135-0047	富岡1-14-17	5621-7511
私保	木下の保育園富岡	135-0047	富岡2-11-6 長谷萬ビル1階	3820-7441
私保	ポピンズナーサリースクール越中島	135-0044	越中島2-1-32 1階	5875-8030
私保	聖華しおかぜ保育園	135-0043	塩浜1-4-46	5632-8771
私保	さくらさくらみらい 富岡	135-0047	富岡2-11-14	5809-9239
私保	富岡クローバー保育園	135-0047	富岡1-4-10 1F	6458-8322
認証	小鳩保育園永代	135-0034	永代1-12-5 第七小崎ビル101	6458-8651

第4グループ

中学	深川第四中学校	135-0015	千石1-12-12	3644-3077
小学	川南小学校	135-0015	千石2-9-12	3647-0574
小学	扇橋小学校	135-0014	石島18-5	3647-0571
区幼	川南幼稚園	135-0015	千石2-9-12	3647-2983
私幼	江東YMCA幼稚園	135-0014	石島3-15	3645-7171
公民	千田保育園	135-0013	千田22-8	5683-1266
私保	マミー保育園扇橋	135-0011	扇橋1-21-5 1階	5683-0455
私保	キッズスマイル江東千石	135-0015	千石2-10-6 2F	6666-7846
私小保	小規模保育室ラッキーココナッツ	135-0015	千石2-8-4	3699-0808
私小保	まかな保育園	135-0011	扇橋2-24-1	6810-5508
私小保	Kid's Patio江東おひさま園	135-0016	東陽5-31-21 1階	5606-8785
こども	文化教養学園	135-0014	石島6-7	3647-0166
認証	保育園ミルキーウェイ清澄白河園	135-0011	扇橋1-15-3	6666-6766

第5グループ

中学	深川第五中学校	135-0061	豊洲4-11-18	3531-7785
小学	豊洲小学校	135-0061	豊洲4-4-4	3531-7788
小学	豊洲西小学校	135-0061	豊洲5-1-35	3534-2821
小学	豊洲北小学校	135-0061	豊洲3-6-1	3533-9862
区幼	豊洲幼稚園	135-0061	豊洲4-4-4	3531-9272
公民	豊洲保育園	135-0061	豊洲4-5-6-101	3533-5427
私保	シンフォニア保育園	135-0061	豊洲2-5-3-101 アーバンドックパークシティ豊洲コートC	5547-0083
私保	TKチルドレンズファーム豊洲校	135-0061	豊洲3-4-8スーパービバホーム豊洲店2階	6802-7081
私保	TKチルドレンズファーム豊洲第二校	135-0061	豊洲3-4-8スーパービバホーム豊洲店2階	5547-4431
私保	蓮美幼児学園とよすナーサリー	135-0061	豊洲3-5-21-102 ロイヤルパークス豊洲	3534-4152
私保	蓮美幼児学園第2とよすナーサリー	135-0061	豊洲3-5-3 豊洲レジデンス1階	3532-4152
私保	アスク豊洲保育園	135-0061	豊洲3-6-8 シティータワーズ豊洲ザ・シンボル1階	5560-0220
私保	ミアヘルサ保育園ひびき豊洲	135-0061	豊洲4-1-24	6204-9771
私保	ゆらりん豊四保育園	135-0061	豊洲4-10-1-106 豊洲4丁目団地	3532-1044
私保	ひまわりキッズガーデン豊洲	135-0061	豊洲4-11-20-138 スターコート豊洲	3532-4131
私保	キッズポケット豊洲保育園	135-0061	豊洲5-5-25	6204-9778
私保	グローバルキッズ豊洲五丁目保育園	135-0061	豊洲5-6-29	5166-9888
私保	あい保育園豊洲	135-0061	豊洲5-6-52 1階	6204-2205
私保	さくらさくみらい 豊洲	135-0061	豊洲4-1-8 1~4階	6204-9239
私小保	おうち保育園とよす	135-0061	豊洲4-10-4-106	5534-8824
認証	メリーポピンズ豊洲ルーム	135-0061	豊洲1-3-1キャナルワーフタワーズ・イーストタワー1階	6220-1819
認証	ゆらりん豊三保育園	135-0061	豊洲3-2-20 豊洲フロント106	6204-2588
認証	ぼけっとランドパークタワー豊洲	135-0061	豊洲4-11-5 パークタワー豊洲1階	5547-8355
認証	ゆらりん豊洲保育園	135-0061	豊洲5-5-1-304	6221-1488

第6グループ

中学	深川第六中学校	135-0023	平野3-6-13	3642-4868
小学	元加賀小学校	135-0021	白河4-3-19	3641-0601
区幼	元加賀幼稚園	135-0021	白河4-9-17	3641-1778
私保	おはよう保育園清澄白河	135-0024	清澄1-7-12	6240-3215
私保	ういず清澄白河駅前保育園	135-0024	清澄3-10-5	6458-5016
私保	グローバルキッズ清澄白河園	135-0021	白河3-1-11	3643-0202
私保	子供の村保育園	135-0021	白河3-3-6	3641-1022
私保	小鳩保育園清澄白河	135-0021	白河3-10-8 福進ビル1~3階	3630-5810
私保	まなびの森保育園白河	135-0021	白河4-9-2	6240-3043
私保	さんいく保育園清澄白河	135-0021	白河4-9-25 パークハウス清澄白河タワー2階	3643-0319
私保	さくらさくみらい三好	135-0022	三好2-6-11	5875-9839
認証	アンジェリカ保育園白河園	135-0021	白河3-1-15 Urbanex清澄白河1階	5621-7007

第7グループ

中学	深川第七中学校	135-0001	毛利1-14-1	3631-5990
小学	毛利小学校	135-0001	毛利2-2-2	3631-1647
小学	東川小学校	135-0002	住吉1-12-2	3631-5508
私幼	まなべ幼稚園	135-0002	住吉2-14-6	3631-6665
公民	猿江保育園	135-0003	猿江1-8-10	3631-7315
公民	毛利保育園	135-0001	毛利2-1-14	3631-0692
私保	キッズスマイル江東猿江	135-0003	猿江2-6-3	6240-2181
私保	グローバルキッズ住吉園	135-0002	住吉1-7-8	3631-8011
私保	めばえ保育園	135-0002	住吉2-25-9	3634-0166
私小保	スマイルクラブナーサリー住吉	135-0003	猿江2-16-5 住吉メディカルモール1階	5625-3600
私小保	キッズフィールド住吉駅前園	136-0074	住吉2-8-9 1階	5669-0355
認証	はなかが保育園	135-0002	住吉2-27-7	3632-0875
認証	テンダーラビング保育園住吉	135-0001	毛利2-5-8-101	3846-0222

第8グループ

中学	深川第八中学校	135-0043	塩浜2-21-14	3647-0581
小学	平久小学校	135-0042	木場1-2-2	3644-0374
小学	枝川小学校	135-0051	枝川3-5-3	3644-4941
区幼	平久幼稚園	135-0042	木場1-2-2	3645-6260
区幼	枝川幼稚園	135-0051	枝川3-4-1-101	3615-1333
区保	塩崎保育園	135-0043	塩浜2-6-3	3645-6014
公民	潮見保育園	135-0052	潮見1-29-15-101	5632-1304
私保	アゼリヤ保育園	135-0042	木場1-3-5	3645-0484
私保	スマイルクラブナーサリー木場	135-0042	木場1-4-5 イマス木場ビル2階	5665-5033
私保	グレース保育園	135-0042	木場5-8-3	5245-6006
私保	LIFE SCHOOL 塩浜 こどものいえ	135-0043	塩浜2-6-2	6666-5444
私保	深川愛隣保育園	135-0051	枝川2-25-10	3645-9900
私保	愛隣シャローム保育園	135-0051	枝川3-6-15	3645-5858
私保	太陽の子 潮見保育園	135-0052	潮見1-28-8 2・3階	6666-5920
私保	タムスわんぱく保育園木場	135-0042	木場2-13-17	5809-8510
私保	キッズスマイル江東塩浜	135-0043	塩浜2-14-5	6458-7637
認証	ルーチェ保育園豊洲	135-0051	枝川2-6-9 レクレドール豊洲1階	6666-3446

第9グループ

中学	有明中学校	135-0063	有明2-10-1	3527-8261
小学	東雲小学校	135-0062	東雲2-4-11	3529-1451
小学	有明小学校	135-0063	有明2-10-1	3527-5101
区幼	ひばり幼稚園	135-0062	東雲2-4-1-103	3529-1454
区保	東雲保育園	135-0062	東雲1-8-5-101	3531-9575
区保	東雲第二保育園	135-0062	東雲2-4-4-103	3529-1453
私保	YMCAオリーブ保育園	135-0062	東雲1-8-18	5166-0596
私保	東雲キャナルコートナーサリースクール	135-0062	東雲1-9-51	5859-5547
私保	みんなのみらいをつくる保育園東雲	135-0062	東雲2-1-22 キャッスルビル東雲2・3階	6380-7421
私保	ナーサリールームベリールベア東雲	135-0062	東雲2-3-17	3527-7905
私保	グローバルキッズしののめ園	135-0062	東雲1-10-14 1階	3520-8310
私保	みらいく有明園	135-0063	有明1-2-12	6457-1251
こども	しののめYMCAこども園	135-0062	東雲1-9-46	5547-5388
こども	武蔵野大学附属有明こども園	135-0062	有明2-1-4	6899-2060
認証	ナーサリールームベリールベア東雲Annex	135-0062	東雲1-9-4 パークタワー東雲1階	5859-5082
認証	保育園夢未来東雲園	135-0062	東雲1-9-5	3531-5131

第10グループ

義務	有明西学園	135-0063	有明1-7-13	(前期)3527-6401 (後期)3527-6403
私保	小学館アカデミーしんとよす保育園	135-0061	豊洲6-2-10	3536-1700
私保	ひまわりキッズガーデン有明	135-0063	有明1-4-11 ブリリアマーレ有明	3527-6217
私保	ひまわりキッズガーデン有明の森	135-0063	有明1-4-20	3529-4751
私保	さんいく保育園有明	135-0063	有明1-5-2 2階	6457-1319
私保	江東湾岸サテライトスマートナーサリースクール	135-0063	有明1-5-22	6380-7411
私保	江東湾岸サテライトスマートナーサリースクール分園	135-0062	東雲1-9-10	3520-9777
私保	ニチキッズありあけ保育園	135-0063	有明3-6-11 3階	3599-5613
私保	江東湾岸サテライトナーサリースクール	135-0063	有明3-7-26	6457-2707
私保	江東湾岸サテライトナーサリースクール分園	135-0061	豊洲5-5-1	5547-4288
私保	キッズスマイル江東有明	135-0063	有明1-3-1 1階	6426-0751
こども	豊洲めぐみこども園	135-0061	豊洲6-2-30	5547-9008

第11グループ

中学	辰巳中学校	135-0053	辰巳1-10-57	3521-8581
小学	辰巳小学校	135-0053	辰巳1-11-1	3521-1164
小学	第二辰巳小学校	135-0053	辰巳1-1-22	3521-3803
区幼	辰巳幼稚園	135-0053	辰巳1-11-1	3521-2187
区保	辰巳第二保育園	135-0053	辰巳1-10-65-101	3521-0369
区保	辰巳第三保育園	135-0053	辰巳1-10-81-101	3521-3263
私保	YMCAキャナルコート保育園	135-0062	東雲1-9-14-104	3615-1967
私保	ひまわりキッズガーデン東雲	135-0062	東雲1-9-18-203	5546-0102
私小保	おうち保育園しののめ	135-0062	東雲1-9-16-210	5534-8697
認証	東雲ルミナス保育園	135-0062	東雲1-9-10 イオン東雲ショッピングセンター2階	6221-3458
認証	ハイブリットマム東雲キャナルコート	135-0062	東雲1-9-22 アパートメンツ東雲キャナルコート105	3536-0020

第12グループ

中学	東陽中学校	135-0016	東陽2-1-8	3645-2381
小学	東陽小学校	135-0016	東陽3-27-12	3644-0406
小学	南陽小学校	135-0016	東陽2-1-20	3649-3461
区幼	南陽幼稚園	135-0016	東陽2-1-14	3649-1077
区保	東陽保育園	135-0016	東陽3-22-1-101	3647-8458
私保	MIWA木場公園保育園	135-0042	木場4-1-65	5646-8355
私保	マミー保育園東陽町	135-0016	東陽2-2-14 シティテラス東陽町	3699-8201
私保	ほっぺるランド東陽町	135-0016	東陽2-4-46 2階	5635-6608
私保	テンダーラビング保育園東陽	135-0016	東陽3-23-21 1階	6458-7631
私保	スターチス保育園	135-0016	東陽3-27-32 玉河ビル3階	6666-3883
私保	スターチス保育園分園	135-0042	木場5-11-15	5809-9969
私保	さくらさくみらい 東陽町	135-0016	東陽5-28-8 1・2階	6666-6539
私保	さくらさくみらい 東陽二丁目	135-0016	東陽2-4-8 1・2階	6666-5739
認証	ハッピーマム東陽町	135-0016	東陽3-27-2 BIGONEビル1階	5875-8231
認証	Dream Kids Little	135-0016	東陽4-5-15 東陽町サンキビル2階	3645-4228

第13グループ

中学	亀戸中学校	136-0071	亀戸9-2-2	3681-0246
小学	第二亀戸小学校	136-0071	亀戸6-36-1	3684-4303
小学	浅間堅川小学校	136-0071	亀戸9-22-4	3684-4311
区幼	第二亀戸幼稚園	136-0071	亀戸6-36-1	3684-1894
区保	亀戸保育園	136-0071	亀戸6-54-2-101	3682-9546
区保	亀戸第二保育園	136-0071	亀戸7-57-8-107	3684-4386
私保	コピーブリススクールかめいど	136-0071	亀戸6-53-11 1・2階	5858-6277
私保	まなびの森保育園亀戸	136-0071	亀戸7-10-1 1階	3638-5500
私保	江東亀戸サテライトグローバルキッズ堅川園	136-0071	亀戸7-39-28	5609-1077
私保	江東亀戸サテライトグローバルキッズ堅川園(分園)	136-0071	亀戸2-18-5	3636-8551
私保	こころこうとう保育園	136-0071	亀戸6-42-13	5875-1770
私保	保育園ミルクウェイ亀戸園	136-0071	亀戸7-38-12 1・2階	5858-8206
私保	亀戸こころ保育園	136-0071	亀戸9-34-1-140 亀戸レジデンス	5836-8011
私保	亀戸こころ保育園(分園)	136-0071	亀戸7-63-3-118	5609-7272
私保	亀戸浅間保育園	136-0071	亀戸9-36-10	3683-5601
認証	亀戸プチ・クレイシュ	136-0071	亀戸6-8-3 豊川ビル1階	5626-9916
認証	ナーサリールームベリーベアー亀戸	136-0071	亀戸6-40-16 エレガントハイツマツモト1階	5875-1614
認証	すくすく亀戸保育園	136-0071	亀戸6-56-4 ライオンズマンション亀戸第3 1階	5875-5728
認証	アスク亀戸保育園	136-0071	亀戸6-57-11 エスティメゾン亀戸1・2階	5627-7681

第14グループ

中学	第二亀戸中学校	136-0071	亀戸4-51-1	3681-7906
小学	香取小学校	136-0071	亀戸4-26-22	3684-4306
小学	水神小学校	136-0071	亀戸5-22-22	3681-1952
私幼	亀戸幼稚園	136-0071	亀戸4-17-3	3681-5866
私幼	亀戸教会めぐみ園	136-0071	亀戸5-17-8	3681-6920
公民	亀戸第四保育園	136-0071	亀戸4-21-13	3685-2884
私保	アンジェリカ亀戸保育園	136-0071	亀戸4-13-18	5628-6250
私保	グローバルキッズ亀戸園	136-0071	亀戸5-1-15	3684-5020
私小保	サンライズキッズ保育園亀戸園	136-0071	亀戸5-29-19 1階	5807-2311
認証	ワーカーズコープ亀戸のびっこ保育園	136-0071	亀戸5-38-31	3683-1856

第15グループ

中学	第三亀戸中学校	136-0071	亀戸1-12-10	3684-4320
小学	第一亀戸小学校	136-0071	亀戸2-5-7	3684-4300
区幼	第一亀戸幼稚園	136-0071	亀戸2-5-7	3685-8227
私幼	まんとみ幼稚園	136-0071	亀戸1-14-12	3681-4252
区保	亀戸第三保育園	136-0071	亀戸1-24-6	3685-2883
私保	おはよう保育園亀戸	136-0071	亀戸1-43-8 1階	3636-3233
私保	陽だまり保育園	136-0071	亀戸2-6-2-102 UR亀戸二丁目団地内	5836-3221
私保	クオリスキッズ亀戸保育園	136-0071	亀戸2-10-10	5875-2741
私保	にじいろ保育園 亀戸	136-0071	亀戸3-43-23	6807-0957
私小保	かめのご保育園	136-0071	亀戸1-40-8 1・2階	6802-9667
私小保	もりのなかま保育園亀戸園	136-0071	亀戸3-62-15	5858-8617
認証	マミーズエンジェル亀戸保育園	136-0071	亀戸2-8-10 アンヴェール1階	3638-8878
認証	ゆりかごの家	136-0071	亀戸2-24-3 グランズ亀戸 102	3636-2667

第16グループ

中学	大島中学校	136-0072	大島8-12-22	3684-4321
小学	第三大島小学校	136-0072	大島9-5-3	3681-9204
小学	第五大島小学校	136-0072	大島8-40-13	3681-5011
区幼	第三大島幼稚園	136-0072	大島7-39-2-101	3685-5945
区幼	もみじ幼稚園	136-0072	大島8-21-9-101	3637-4106
区保	わかば保育園	136-0072	大島9-7-8-101	3682-1461
区保	大島第四保育園	136-0072	大島8-12-20-101	3685-7471
私保	かがやき保育園	136-0072	大島7-37-13	5858-9686
私保	アスク東大島保育園	136-0072	大島8-31-2	5609-7210
私小保	キッズフィールド東大島駅前園	136-0072	大島8-42-8 2階	5858-9266
認証	東大島駅前保育園	136-0072	大島9-3-12	5626-2622

第17グループ

中学	第二大島中学校	136-0072	大島3-27-18	3685-1681
小学	第二大島小学校	136-0072	大島3-16-2	3684-4315
小学	第四大島小学校	136-0072	大島6-7-8	3681-9935
私幼	大島新生幼稚園	136-0072	大島3-30-9	3681-0392
区保	大島第三保育園	136-0072	大島6-1-6-130	3685-9091
私保	花と鳥保育園	136-0072	大島3-8-7 ザ・ミッドランドアベニューF棟	5627-3160
私保	大島なかよし保育園	136-0072	大島3-15-10	6802-9421
私保	ココロポインターナショナル大島(本園)	136-0072	大島6-22-8	5858-6593
私保	ココロポインターナショナル大島(分園)	136-0072	大島6-22-9	5858-6593
私保	キッズスマイル江東大島	136-0072	大島6-26-11	6807-0887
認証	さくらんぼ保育室	136-0072	大島6-1-1-110	3685-5688
認証	ひよっこ保育室	136-0072	大島6-1-7-108	3685-1924

第18グループ

中学	大島西中学校	136-0072	大島4-1-23	3636-4591
小学	第一大島小学校	136-0072	大島2-41-4	3684-4312
小学	大島南央小学校	136-0072	大島4-18-5	3636-2116
区幼	大島幼稚園	136-0072	大島5-38-1	3684-3396
区保	大島保育園	136-0072	大島5-53-1-101	3681-9026
区保	大島第二保育園	136-0072	大島4-1-6-130	3685-6059
公民	大島第五保育園	136-0072	大島4-21-3-101	3637-0464
私保	グローバルキッズ西大島園	136-0072	大島1-10-5	3637-8331
私保	マミー保育園西大島	136-0072	大島2-36-15	5875-3213
私保	太陽の子大島五丁目保育園	136-0072	大島5-27-13	5609-7651
私保	京進のほいくえん ビーフエアおおじまタウン	136-0072	大島5-30-12	5858-8373
私小保	キャリアー保育園にしおおじま	136-0072	大島4-1-2-105	6807-0717
認証	つくしの家保育室	136-0072	大島4-1-6-152	3683-2934
認証	保育園あつぶるキッズ西大島園	136-0072	大島4-3-6	3636-7415
認証	ビッキーズ保育園	136-0072	大島4-13-21	3637-2341

第19グループ

中学	砂町中学校	136-0073	北砂6-16-28	3644-3096
小学	第六砂町小学校	136-0073	北砂6-26-6	3646-4462
小学	東砂小学校	136-0074	東砂2-12-14	3648-5818
区幼	東砂幼稚園	136-0074	東砂4-20-1	3644-1942
私幼	江東めぐみ幼稚園	136-0074	東砂2-11-3	3646-2666
区保	東砂保育園	136-0074	東砂2-13-2-101	3648-0710
区保	東砂第二保育園	136-0074	東砂2-6-4-101	3648-4488
区保	東砂第三保育園	136-0074	東砂1-5-3-101	3640-6447
私保	みらいく北砂園	136-0073	北砂6-27-19	6659-7672
私小保	小鳩スマート保育所北砂	136-0073	北砂5-16-13	6810-5622

第20グループ

中学	第二砂町中学校	136-0074	東砂8-10-9	3646-4464
小学	第二砂町小学校	136-0074	東砂7-17-30	3640-5322
小学	第五砂町小学校	136-0074	東砂8-11-5	3646-4474
小学	第七砂町小学校	136-0074	東砂3-21-5	3644-0543
区幼	第五砂町幼稚園	136-0074	東砂7-5-27	3644-2209
私幼	きよし幼稚園	136-0074	東砂3-17-10	3644-6809
区保	東砂第四保育園	136-0074	東砂7-17-35-101	3648-7750
私保	マミー保育園東砂	136-0074	東砂3-28-1	5635-1555
私保	みらいく東砂園	136-0074	東砂3-30-11	6666-5537
私保	ともしび保育園	136-0074	東砂6-2-16	3644-2747
私保	にじいろ保育園 東砂	136-0074	東砂7-18-18	6666-7912
私保	キッズスマイル江東東砂	136-0074	東砂8-19-4 1階	6666-7788
私小保	もりのなかま保育園東砂園	136-0074	東砂6-16-1	6666-0080

第21グループ

中学	第三砂町中学校	136-0076	南砂3-10-3	3646-4477
小学	第三砂町小学校	136-0076	南砂6-3-13	3646-4471
区保	南砂第一保育園	136-0076	南砂4-4-1-102	3644-1706
区保	城東保育園	136-0076	南砂7-9-11	3646-7087
公民	南砂さくら保育園	136-0076	南砂6-8-3	5690-2190
公民	新砂保育園	136-0075	新砂3-3-11	5677-1332
私保	太陽の子南砂2丁目保育園	136-0076	南砂2-36-10 光陽ビル1階	6666-0246
私保	南砂町保育園	136-0076	南砂3-10-8	3644-6720
私保	グローバルキッズ南砂園	136-0076	南砂3-14-6	6659-7600
私保	ルーチェ保育園南砂	136-0076	南砂4-18-4 第2ユタカビル1・2階	6666-5501
私保	おはよう保育園南砂町	136-0076	南砂6-10-11	6666-3577
私保	八幡保育園	136-0076	南砂7-14-17	3640-9830
認証	どんぐり保育園南砂	136-0076	南砂6-8-18	5633-2525
認証	ひまわり保育室	136-0075	新砂3-3-53 アルカナル南砂2-F	3647-4868
認証	マミー保育センター南砂町	136-0075	新砂3-4-35	3699-4697
認証	南砂プチ・クレイシュ	136-0075	新砂3-4-43	5632-0415

第22グループ

中学	第四砂町中学校	136-0073	北砂5-20-17	3644-0569
小学	砂町小学校	136-0073	北砂4-13-23	3644-0703
小学	小名木川小学校	136-0073	北砂5-22-10	3644-2029
小学	亀高小学校	136-0073	北砂5-20-16	3640-5324
区幼	なでしこ幼稚園	136-0073	北砂5-20-7-102	3640-7275
区幼	小名木川幼稚園	136-0073	北砂5-22-10	3648-5244
区保	小名木川第二保育園	136-0073	北砂5-20-3-101	3647-9137
区保	亀高第二保育園	136-0073	北砂5-20-10-101	3648-9371
公民	亀高保育園	136-0073	北砂5-20-9-101	3647-9138
私保	砂町保育園	136-0073	北砂4-18-27	3644-6722
私保	Milky Way International Nursery School 北砂校	136-0073	北砂5-1-28	6666-3937
私保	砂町友愛園	136-0073	北砂5-14-10	3644-7332
私保	にじいろ保育園 北砂	136-0073	北砂5-17-5	6458-6321
私保	キッズスマイル江東北砂	136-0073	北砂5-1-23	6810-5311
私小保	もりのなかま保育園北砂園	136-0073	北砂5-1-26 1階	6666-7740
認証	ゆらりん砂町保育園	136-0073	北砂5-20-1-101 UR北砂五丁目団地	6458-4211

第23グループ

中学	南砂中学校	136-0076	南砂2-3-20	3649-2152
小学	南砂小学校	136-0076	南砂2-3-21	3645-5008
区幼	みどり幼稚園	136-0076	南砂2-3-3-101	3649-5840
区保	南砂第三保育園	136-0076	南砂2-3-3-102	3649-1767
区保	南砂第五保育園	136-0076	南砂2-3-6-103	3649-2144
公民	南砂第二保育園	136-0076	南砂2-3-1-101	3649-1766
公民	南砂第四保育園	136-0076	南砂2-3-4-101	3649-2143
私保	南砂あら川保育園	136-0076	南砂2-2-11	6659-8535
認証	ナーサリールームベリーベア東陽町	136-0076	南砂2-6-3 サンライズ東陽ビル3階	5665-1162

第24グループ

中学	第二南砂中学校	136-0076	南砂1-2-18	3699-1591
小学	第四砂町小学校	136-0076	南砂2-13-18	3644-0348
小学	北砂小学校	136-0073	北砂1-3-36	3649-3463
区幼	つばめ幼稚園	135-0011	扇橋3-20-13-101	3649-1841
区保	北砂保育園	136-0073	北砂1-1-4-101	3647-4430
公民	小名木川保育園	136-0073	北砂1-3-30	3645-6807
私保	スクルドエンジェル北砂園	136-0073	北砂1-9-6	6810-5277
私保	ドリームキッズランド保育園	136-0076	南砂2-28-27	6666-8793

江東区保幼小連携教育プログラム

令和3年3月

編集発行 江東区教育委員会事務局 指導室
江東区東陽4-11-28
電話 (3647)9111(大代表)

印刷所 有限会社サムネク
江東区深川2-2-12
電話 (3643)1059

表紙の絵 南陽幼稚園 教諭 小林 汐里
